

2009年度決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2010年5月

目次

2009年度決算概要

・決算概要Ⅰ－①<P/L:連結・2行合算>.....	2
・決算概要Ⅰ－②<P/L:各行>.....	3
・決算概要Ⅱ－①<B/S:連結・2行合算>.....	4
・決算概要Ⅱ－②<B/S:各行>.....	5
・トップラインの増減要因①～資金利益.....	6
・トップラインの増減要因②～非金利収入.....	7
・トップラインの増減要因③～経費.....	8
・有価証券関係損益.....	9
・有価証券残高・評価損益.....	10
・与信費用・不良債権.....	11
・自己資本の状況.....	12
・繰延税金資産.....	13
・業績予想.....	14

・貸出金.....	15
・信用保証協会保証付貸出.....	16
・住宅ローン.....	17
・金融円滑化への対応.....	18
・預貸金利ざや①.....	19
・預貸金利ざや②.....	20
・投資型金融商品.....	21
・ポートフォリオ(円貨債券).....	22

中期経営計画

・ほくほくフィナンシャルグループ “Road to 10” ..	23
・北陸銀行 “ハイブリッド I・S・M 2010” ..	37
・北海道銀行 “DASH” ..	46

分割子会社北銀コーポレートは再生支援専門会社として設立されましたが、当初の設立目的終了から平成21年9月に清算終了いたしました。一部過年度計数には分割子会社計数を加算し表示しています。

2009年度決算概要

決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

2009年11月13日公表

<ほくほくFG連結> (億円)	[業績予想]	10/3期	増減	09/3期
経常収益	[2,250]	2,267	▲128	2,396
経常利益	[350]	354	+140	213
当期純利益	[180]	192	▲178	370
<2行合算> (億円)				
コア業務粗利益	[1,620]	1,609	▲74	1,683
資金利益		1,303	▲30	1,334
うち国内部門		1,298	▲20	1,319
役務取引等利益		221	▲16	238
特定取引利益		14	▲1	15
その他業務利益(除く5勘定戻)		69	▲26	95
経費(臨時処理分を除く)(▲)	[940]	944	+28	915
コア業務純益	[680]	664	▲103	768
国債等債券損益		20	+45	▲25
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		685	▲57	742
臨時損益		▲317	+237	▲554
与信費用(▲)	[270]	255	▲100	355
株式等損益		▲17	+133	▲151
経常利益	[370]	368	+155	213
特別損益		25	+14	11
法人税等(▲)		133	+288	▲154
当期純利益	[250]	260	▲118	379

<ほくほくFG連結>

当期純利益 192億円 (09/3比▲178億円)
…前期は子会社清算決定に伴う法人税等調整額減少の影響あり

<2行合算>

コア業務純益 664億円 (09/3比▲103億円)
…粗利益減少、経費増加
経常利益 368億円 (09/3比+155億円)
…与信費用の減少、株式等損益の改善
当期純利益 260億円 (09/3比▲118億円)
…前期は子会社清算決定に伴う法人税等調整額減少の影響あり

連単差の内訳

(億円)	10/3期	増減	09/3期
差額 A-B	▲68	▲59	▲8
子会社利益	3	▲8	12
子会社清算	▲31	▲31	-
のれん償却	▲24	▲0	▲24
有価証券損益調整	▲10	▲7	▲3

決算概要 I ー②<P/L:各行>

(億円)	〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	10/3期	増減	09/3期	10/3期	増減	09/3期
コア業務粗利益	901	▲46	947	708	▲27	735
資金利益	725	▲21	747	577	▲8	586
うち国内部門	723	▲14	738	574	▲6	581
役務取引等利益	135	▲7	143	86	▲8	94
特定取引利益	14	▲1	15	-	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	25	▲15	41	43	▲10	54
経費(臨時処理分を除く)(▲)	518	+4	513	426	+24	402
コア業務純益	383	▲50	434	281	▲52	333
国債等債券損益	▲10	+0	▲10	30	+45	▲14
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	372	▲50	423	312	▲7	319
臨時損益	▲168	+180	▲349	▲148	+56	▲204
与信費用(▲)	134	▲80	214	120	▲20	140
株式等損益	▲14	+101	▲115	▲2	+32	▲35
経常利益	199	+111	88	169	+44	125
特別損益	18	+30	▲12	6	▲16	23
法人税等(▲)	61	+249	▲188	72	+38	33
当期純利益	156	▲107	264	103	▲10	114

決算概要Ⅱ ①<B/S:連結・2行合算>

<2行合算(+分割子会社)> (億円)	10/3末	増減	09/3末
貸出金	69,936	▲1,631	71,567
うち中小企業等	48,906	▲1,599	50,505
うち個人ローン	19,673	+590	19,082
有価証券	20,150	+2,900	17,250
預金	90,484	+3,769	86,715
うち個人預金	64,014	+2,106	61,907
個人預かり資産	71,570	+2,527	69,043
預金(円貨)	63,744	+2,088	61,655
投資型金融商品	7,826	+439	7,387
外貨預金	269	+17	251
公共債	3,044	▲181	3,226
投資信託	4,512	+602	3,909
金融再生法開示債権	2,152	▲122	2,275
金融再生法開示債権比率	2.98%	▲0.09%	3.07%
<ほくほくFG連結> (億円)			
自己資本比率	10.83%	+0.02%	10.81%
Tier1比率	7.05%	▲0.53%	7.58%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	21.03%	▲1.74%	22.77%
その他有価証券の評価差額	140	+419	▲279

<2行合算(+分割子会社)>

貸出金 09/3比 ▲1,631億円
 …住宅系ローンを中心に個人ローンは前期末比590億円増加
有価証券 09/3比 +2,900億円
 …国債・地方債を中心に増加
預金 09/3比 +3,769億円
 …個人預金の増加
個人預かり資産 09/3比 +2,527億円
 …個人預金は順調に増加
開示債権 09/3比▲122億円
開示債権比率 2.98%

<ほくほくFG連結>

自己資本比率 10.83%

有価証券の評価差額 +140億円

決算概要Ⅱ－②<B/S:各行>

(億円)	〈北陸銀行(+分割子会社)〉			〈北海道銀行〉		
	10/3末	増減	09/3末	10/3末	増減	09/3末
貸出金	41,426	▲1,506	42,933	28,510	▲124	28,634
うち中小企業等	28,822	▲1,314	30,137	20,083	▲284	20,368
うち個人ローン	10,203	+418	9,784	9,470	+171	9,298
有価証券	10,159	+1,570	8,588	9,991	+1,329	8,662
預金	52,445	+2,044	50,400	38,039	+1,724	36,314
うち個人預金	35,472	+951	34,520	28,541	+1,155	27,386
個人預かり資産	40,278	+1,215	39,062	31,292	+1,311	29,980
預金(円貨)	35,279	+942	34,336	28,465	+1,146	27,318
投資型金融商品	4,998	+273	4,725	2,827	+165	2,661
外貨預金	193	+9	184	76	+8	67
公共債	1,977	▲75	2,052	1,066	▲106	1,173
投資信託	2,828	+339	2,488	1,684	+263	1,420
金融再生法開示債権	1,473	+46	1,426	679	▲169	848
金融再生法開示債権比率	3.42%	+0.23%	3.19%	2.32%	▲0.57%	2.89%
自己資本比率	10.80%	+0.57%	10.23%	10.19%	▲0.26%	10.45%
Tier1比率	6.76%	▲0.38%	7.14%	6.81%	▲0.46%	7.27%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	27.01%	▲2.01%	29.02%	15.35%	▲1.98%	17.33%
その他有価証券の評価差額	111	+219	▲107	104	+178	▲74

トップラインの増減要因① ～資金利益

- 資金需要の低迷と、競争激化の進行
⇒ 貸出金利回りが低下し、利ざや縮小が進む

【資金利益(国内部門)の増減要因】

【11/3期計画】
(国内部門)

(億円、%)	09/3期			10/3期			増減			要因分析				
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	レート			
〈2行合算〉												2行合算		
資金利益			1,319			1,298			▲20			平残	利回り	
貸出金	69,363	2.01%	1,400	69,649	1.87%	1,306	286	▲0.14%	▲94	5	▲99	貸出金	▲125	▲0.08%
有価証券	17,035	1.01%	172	18,303	1.00%	183	1,268	▲0.01%	11	12	▲1	有価証券	+2,890	+0.01%
預金・NCD	85,830	0.29%	252	88,812	0.21%	186	2,982	▲0.08%	▲65	7	▲72	預金・NCD	+1,665	▲0.05%
〈北陸銀行〉												北陸銀行		
資金利益			738			723			▲14			平残	利回り	
貸出金	41,789	1.93%	807	41,081	1.80%	739	▲708	▲0.13%	▲67	▲13	▲54	貸出金	+30	▲0.07%
有価証券	8,045	1.01%	81	8,732	1.05%	92	687	0.04%	11	7	3	有価証券	+1,590	+0.06%
預金・NCD	49,592	0.30%	152	51,172	0.22%	115	1,580	▲0.08%	▲36	4	▲41	預金・NCD	+630	▲0.06%
〈北海道銀行〉												北海道銀行		
資金利益			581			574			▲6			平残	利回り	
貸出金	27,574	2.14%	592	28,568	1.98%	566	994	▲0.16%	▲26	20	▲46	貸出金	▲155	▲0.09%
有価証券	8,989	1.01%	90	9,570	0.95%	91	580	▲0.06%	0	5	▲5	有価証券	+1,300	▲0.03%
預金・NCD	36,238	0.27%	99	37,640	0.19%	71	1,401	▲0.08%	▲28	3	▲31	預金・NCD	+1,035	▲0.04%

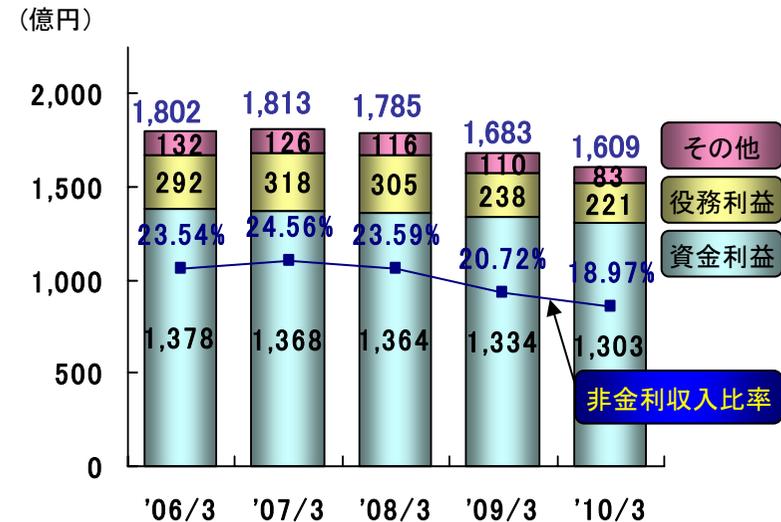
トップラインの増減要因② ～非金利収入

- 為替手数料の減少、保険手数料率の低下
- 需要減少に伴い、外為売買益は減少

【非金利収入の増減要因】

〈2行合算〉(億円)	10/3期	増減	09/3期
(1) 役務取引等利益	221	▲16	238
役務取引等収益	358	▲11	369
うち受入為替手数料	118	▲7	126
うち投資信託手数料	53	+9	43
うち保険手数料	32	▲7	39
役務取引等費用	136	+4	131
うち支払為替手数料	19	▲1	21
うちコンビニATM手数料	21	+1	19
うちローン保険料・保証料	88	+4	84
(2) 特定取引利益	14	▲1	15
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	69	▲26	95
うち外為売買損益(ネット)	41	▲23	65
うち金融派生商品収益	27	▲2	30
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	305	▲43	348
(5) コア業務粗利益	1,609	▲74	1,683
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	18.97%	▲1.75%	20.72%

【コア業務粗利益】〈2行合算〉



【役務取引等利益】〈2行合算〉



トップラインの増減要因③ ～経費

➤ 人員増、システム投資等により経費は増加

【経費の増減要因】

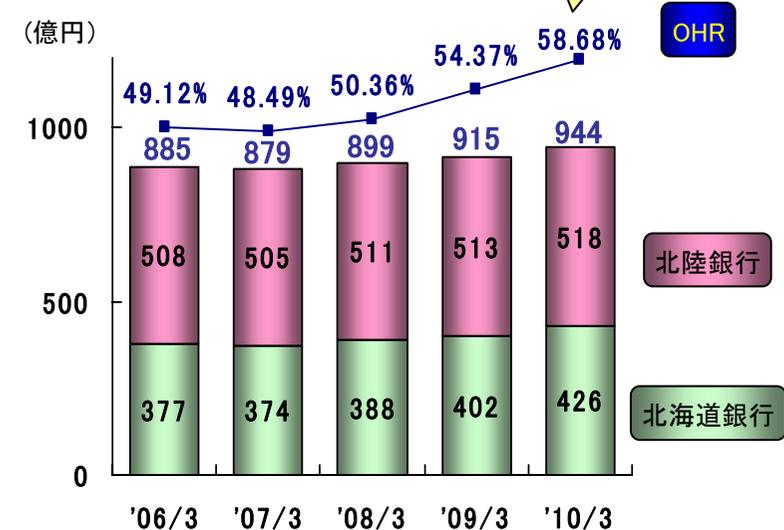
〈2行合算〉(億円)	10/3期	増減	09/3期
経費	944	+28	915
人件費	432	+21	411
物件費	462	+10	451
税金	49	▲3	52
OHR	58.68%	+4.31%	54.37%
従業員数(A)	4,521	+163	4,358
スタッフ数(B)	3,946	▲244	4,190
スタッフ比率(B)/{(A)+(B)}	46.60%	▲2.41%	49.01%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

【経費・OHRの推移】〈2行合算〉



人件費 09/3比+21億円
 …営業力強化のための人員増加
 スタッフの直接雇用化

物件費 09/3比+10億円
 …システム投資の増加

有価証券関係損益

- 国債等関係損益 20億円 (09/3期比 + 45億円)
- 株式等損益 ▲17億円 (09/3期比 + 133億円)

【有価証券関係損益】

(億円)	〈2行合算〉			〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	10/3期	増減	09/3期	10/3期	増減	09/3期	10/3期	増減	09/3期
国債等債券損益	20	+45	▲25	▲10	+0	▲10	30	+45	▲14
売却益	54	+22	32	1	▲11	12	53	+33	19
売却損	24	+3	20	8	+7	0	15	▲3	19
償還損	6	▲3	10	-	▲0	0	6	▲3	10
償却	3	▲24	27	2	▲19	22	0	▲4	5
株式等損益	▲17	+133	▲151	▲14	+101	▲115	▲2	+32	▲35
売却益	8	+5	3	6	+3	3	2	+1	0
売却損	4	+2	2	4	+3	1	0	▲0	0
償却	21	▲131	152	16	▲101	117	4	▲30	34

減損処理	要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
	正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

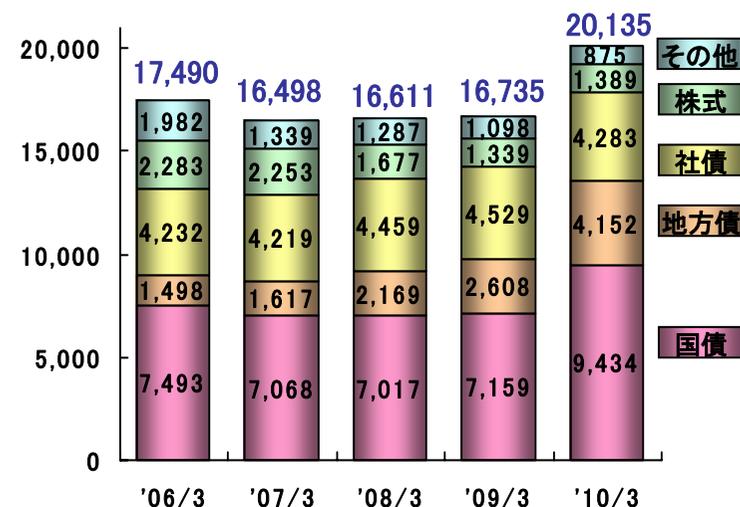
有価証券残高・評価損益

- 有価証券残高は国債・地方債を中心に増加
- 評価損益は相場環境の好転を受け大幅改善

【有価証券残高】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	10/3末	増減	09/3末
有価証券	20,135	+3,399	16,735
国債	9,434	+2,274	7,159
地方債	4,152	+1,543	2,608
社債	4,283	▲245	4,529
株式	1,389	+49	1,339
その他	875	▲222	1,098

【有価証券残高の推移】 (億円)



【有価証券の評価損益】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	取得原価			貸借対照表計上額			評価差額		
	10/3末	増減	09/3末	10/3末	増減	09/3末	10/3末	増減	09/3末
その他有価証券	19,993	+5,062	14,931	20,133	+5,481	14,651	140	+419	▲279
株式	1,086	▲58	1,144	1,076	+32	1,044	▲9	+90	▲100
債券	17,010	+4,363	12,646	17,198	+4,590	12,607	187	+227	▲39
その他	1,896	+756	1,139	1,857	+858	999	▲38	+101	▲139

【変動利付国債の評価損益】 (億円)

〈参考〉評価損益	〈2行合算〉	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
理論価格	65	13	51
市場価格	▲49	13	▲62

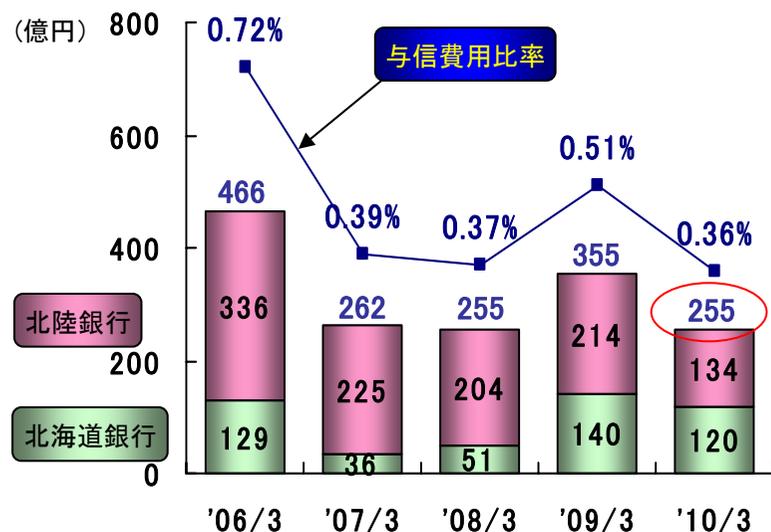
【銀行勘定の金利リスク】 (億円)

	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
金利リスク量	548	341
アウトライヤー比率	17.48%	15.85%
99パーセンタイル値		

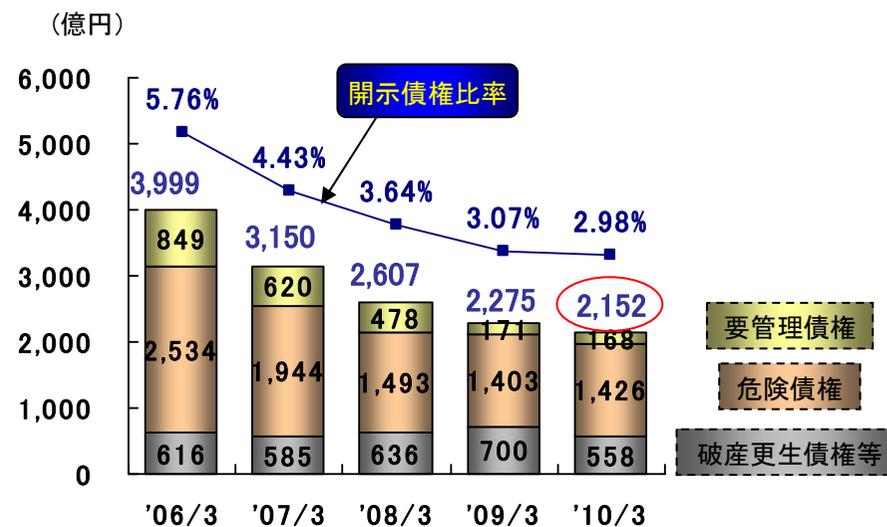
与信費用・不良債権

- 与信費用 255億円 (09/3比▲100億円)、与信費用比率 0.36% (09/3比▲0.14%)
- 開示債権比率 2.98% (09/3比▲0.09%)

【与信費用】〈2行合算〉



【金融再生法開示債権】〈2行合算(+分割子会社)〉

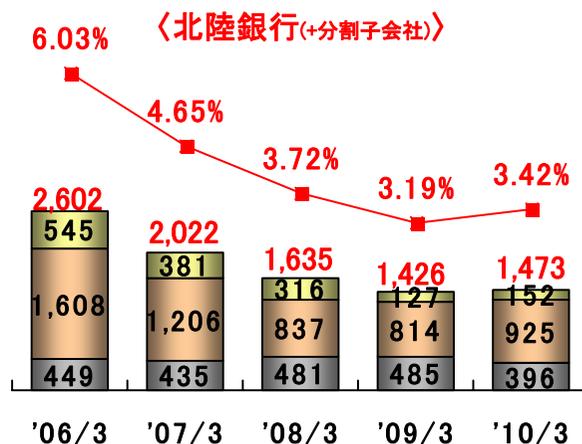


※与信費用

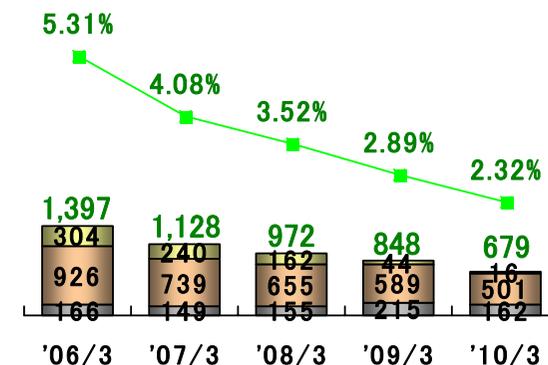
=不良債権処理額+一般貸倒引当金繰入

※与信費用比率

=与信費用÷貸出金平均残高



〈北海道銀行〉

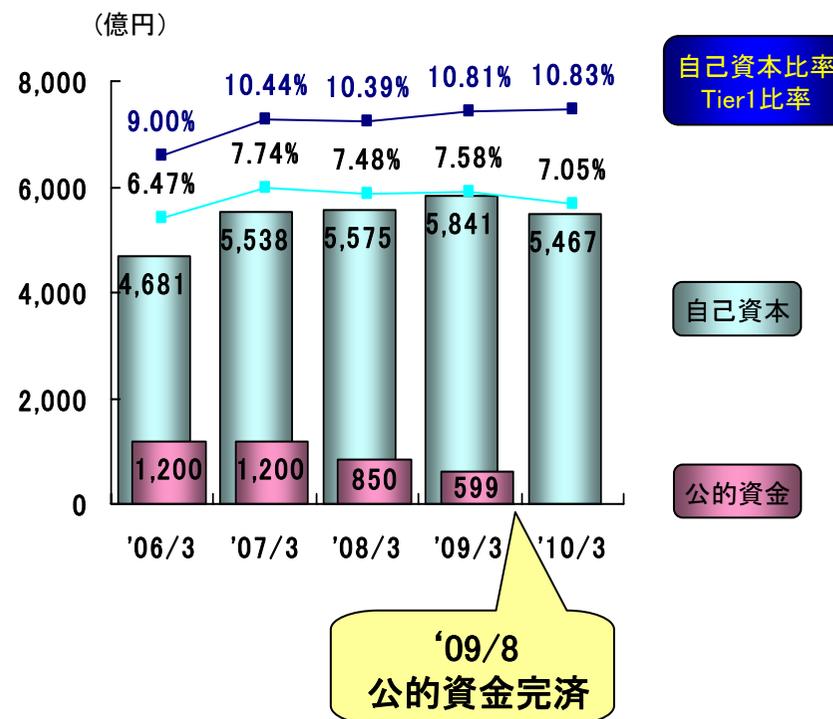


自己資本の状況

- 自己資本比率は10.83% (09/3比+0.02%)
- 公的資金1,200億円は09年8月完済

【自己資本比率】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	10/3末	増減	09/3末
自己資本比率	10.83%	+0.02%	10.81%
Tier1比率	7.05%	▲0.53%	7.58%
Tier1	3,560	▲540	4,100
うち優先株式(公的資金)	-	▲599	599
うち優先株式(民間)	537	-	537
Tier2	1,921	+164	1,756
自己資本合計	5,467	▲373	5,841
リスクアセット	50,462	▲3,573	54,035
信用リスク	47,204	▲3,431	50,635
オペレーショナルリスク	3,258	▲141	3,400



〈北陸銀行(単体)〉

(億円)	10/3末	増減	09/3末
自己資本比率	10.80%	+0.57%	10.23%
Tier1比率	6.76%	▲0.38%	7.14%
Tier1	1,963	▲314	2,278
Tier2	1,176	+188	988
自己資本合計	3,139	▲126	3,266
リスクアセット	29,046	▲2,864	31,910

〈北海道銀行(単体)〉

(億円)	10/3末	増減	09/3末
自己資本比率	10.19%	▲0.26%	10.45%
Tier1比率	6.81%	▲0.46%	7.27%
Tier1	1,438	▲178	1,617
Tier2	712	+4	708
自己資本合計	2,151	▲174	2,325
リスクアセット	21,105	▲1,143	22,249

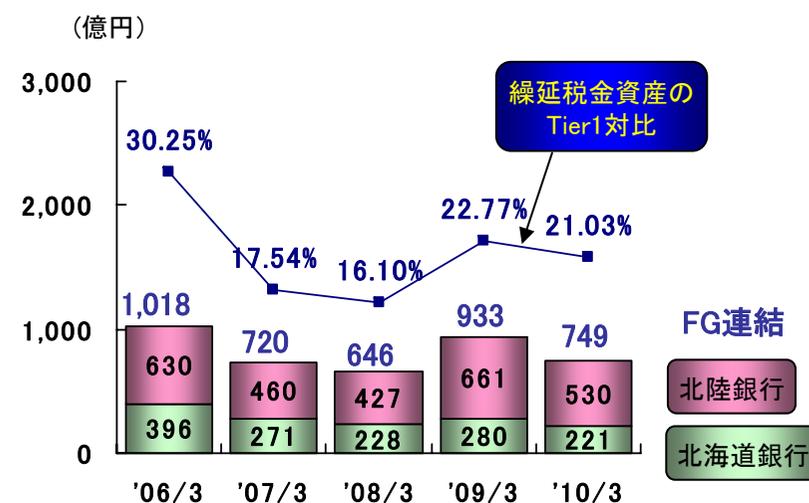
繰延税金資産

- 繰延税金資産 749億円 (09/3比▲184億円)
- Tier1対比 21.03% (09/3比▲1.74%)

【繰延税金資産の発生の内訳】

〈ほくほくFG連結〉 (億円)	10/3末	増減	09/3末
貸倒引当金損金算入限度超過額	686	▲9	695
減価償却損金算入限度超過額	17	▲1	19
退職給付引当金	172	+13	159
有価証券評価損否認額	136	▲8	145
その他有価証券評価差額	-	▲96	96
その他	55	+7	48
繰越欠損金	274	▲60	334
(1) 繰延税金資産小計	1,343	▲154	1,498
(2) 評価性引当額	423	▲75	499
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	920	▲78	998
(4) 繰延税金負債合計	170	+106	64
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	749	▲184	933

【繰延税金資産の推移】



(億円)

(1) 繰延税金資産小計	993	▲106	1,100
(2) 評価性引当額	373	▲59	432
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	620	▲47	667
(4) 繰延税金負債合計	89	+83	6
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	530	▲130	661

〈北陸銀行〉

	10/3末	増減	09/3末
(1) 繰延税金資産小計	993	▲106	1,100
(2) 評価性引当額	373	▲59	432
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	620	▲47	667
(4) 繰延税金負債合計	89	+83	6
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	530	▲130	661

〈北海道銀行〉

	10/3末	増減	09/3末
(1) 繰延税金資産小計	302	▲9	312
(2) 評価性引当額	21	+0	21
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	281	▲10	291
(4) 繰延税金負債合計	60	+49	11
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	221	▲59	280

業績予想

【11/3期 業績予想】

〈ほくほくFG連結〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	10/3期比
経常収益	1,050	2,110	▲157
経常利益	140	320	▲34
当期純利益	80	175	▲17

〈2行合算〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	10/3期比
経常収益	965	1,940	▲134
コア業務粗利益	785	1,585	▲24
経費	480	960	+15
コア業務純益	305	625	▲39
与信費用	130	240	▲15
経常利益	150	335	▲33
当期純利益	90	200	▲60

【11/3期 配当予想】

〈ほくほくFG単体〉

	中間 予想	期末 予想	年間 予想	10/3期比
普通株式	-	3円50銭	3円50銭	-
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	-

〈北陸銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	10/3期比
経常収益	545	1,100	▲37
コア業務粗利益	445	900	▲1
経費	265	530	+11
コア業務純益	180	370	▲13
与信費用	70	140	+5
経常利益	100	210	+10
当期純利益	60	125	▲31

〈北海道銀行(単体)〉

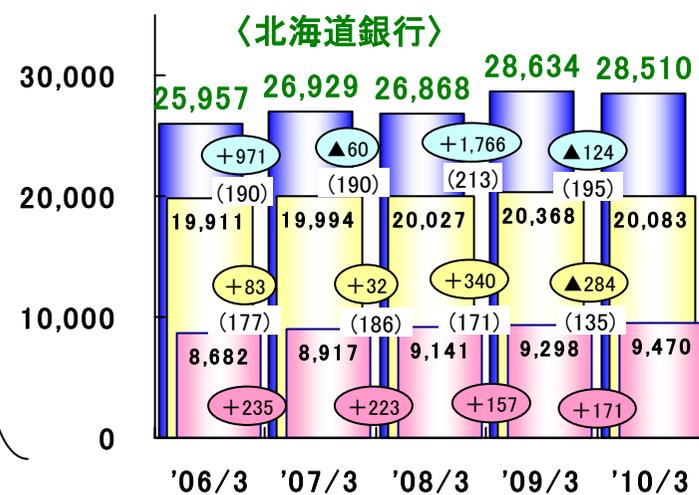
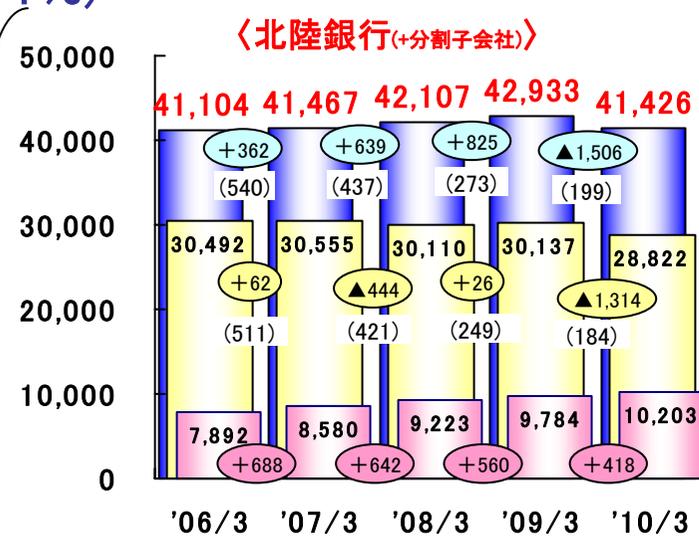
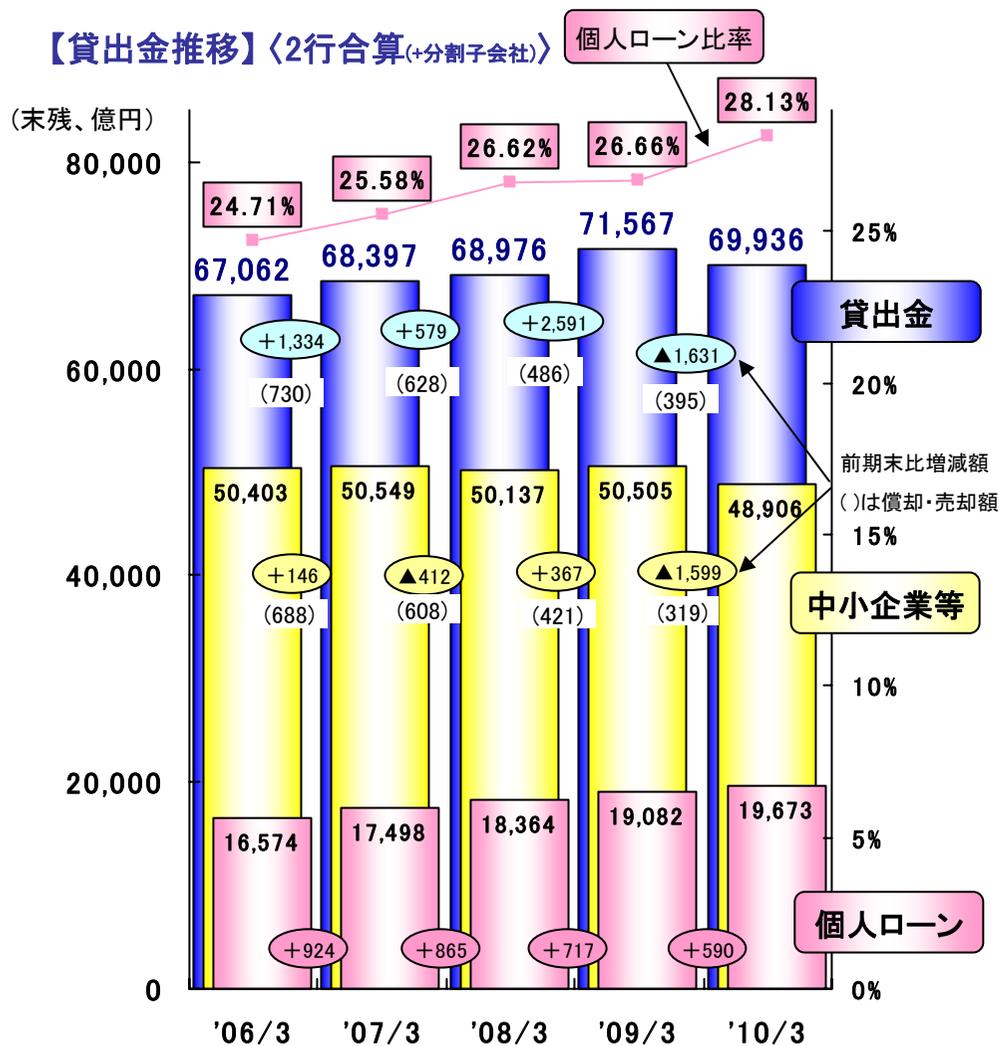
	中間期 予想	通期 予想	10/3期比
経常収益	420	840	▲97
コア業務粗利益	340	685	▲23
経費	215	430	+3
コア業務純益	125	255	▲26
与信費用	60	100	▲20
経常利益	50	125	▲44
当期純利益	30	75	▲28

貸出金

- 貸出金 09/3比 ▲1,631億円 (▲2.3%)
- 中小企業等向け 09/3比 ▲1,599億円 (▲3.2%)
- 個人ローン 09/3比 +590億円 (+3.1%)

※償却・売却要因 395億円
(うち中小企業向け319億円)

【貸出金推移】〈2行合算(+分割子会社)〉



信用保証協会保証付貸出

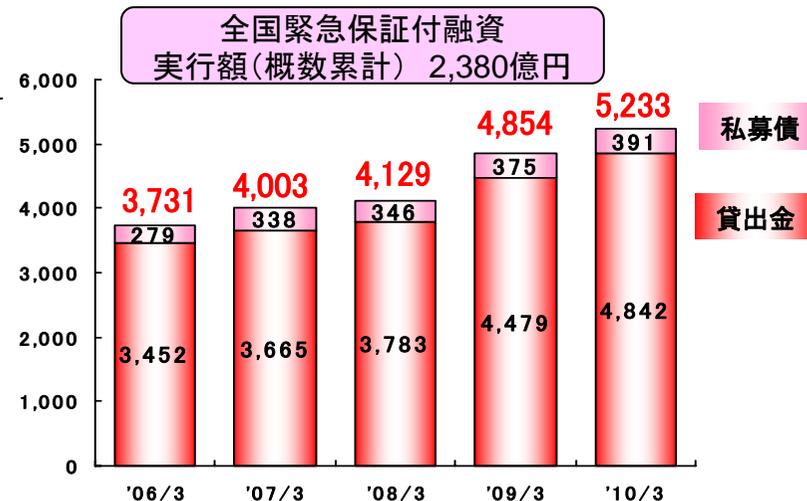
- 信用保証協会保証付貸出金等残高 09/3比 +462億円(+7.1%)
- 全国緊急保証付融資 実行額(概数累計)3,221億円

【マル保付貸出金等推移】〈2行合算+分割子会社〉

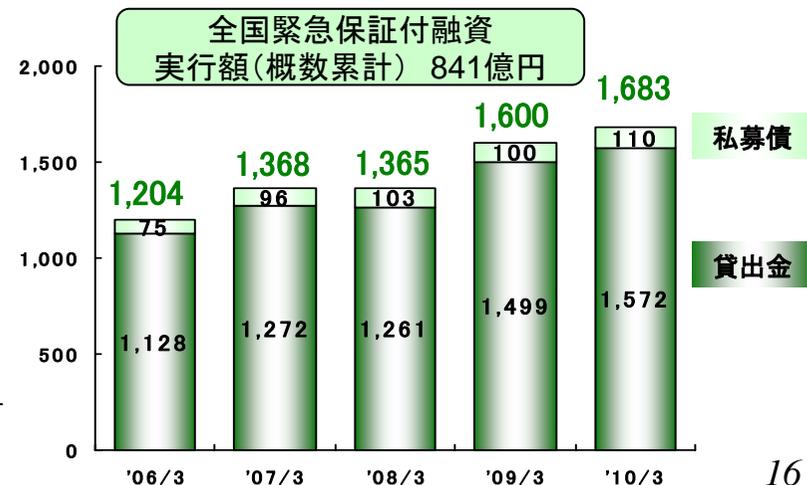
(末残、億円)



〈北陸銀行(+分割子会社)〉



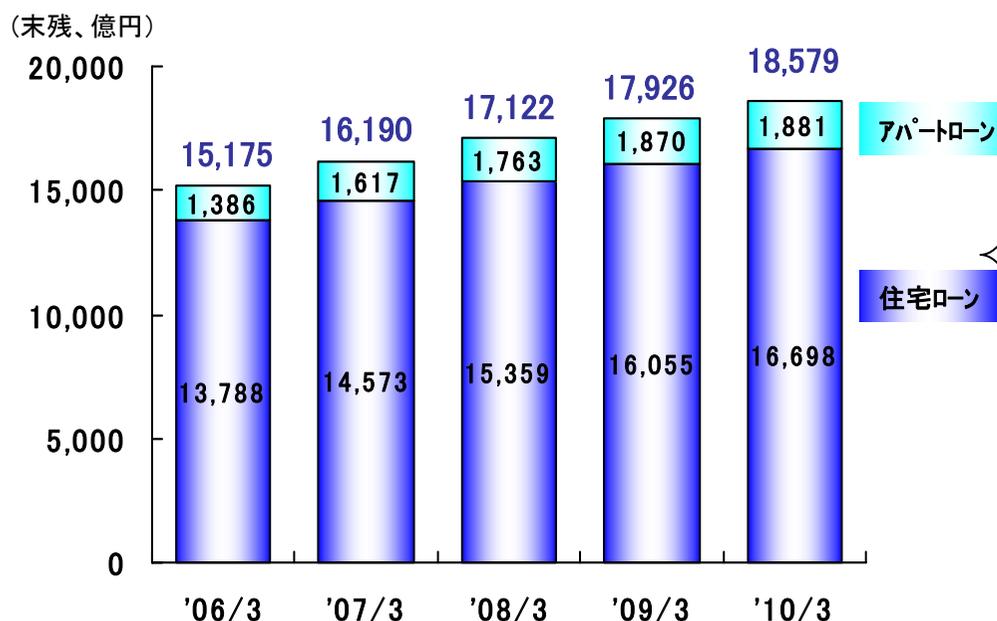
〈北海道銀行〉



住宅ローン

- 住宅系ローン残高は653億円増加
- 住宅ローン実行は借換を中心に推進

【住宅系ローン残高の推移】
〈2行合算〉



【住宅ローン実行額の推移】

〈2行合算〉

(億円)	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期
住宅ローン実行額	2,657	2,228	2,275	2,186	2,095
うち新築	1,734	1,614	1,772	1,765	1,413
うち借換	923	613	502	421	682

〈北陸銀行〉

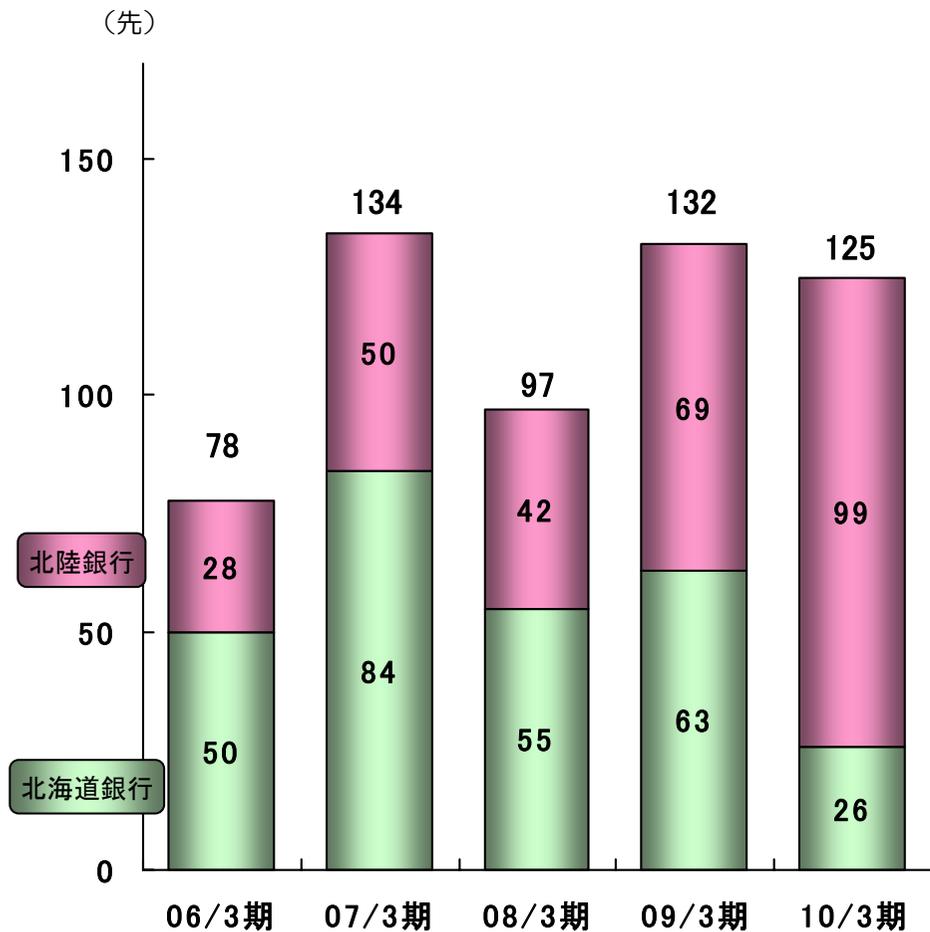
	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期
住宅ローン実行額	1,334	1,076	1,135	1,108	1,047
うち新築	999	842	937	908	719
うち借換	334	233	198	200	327

〈北海道銀行〉

	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期
住宅ローン実行額	1,322	1,152	1,139	1,077	1,048
うち新築	734	772	835	856	694
うち借換	588	379	304	220	354

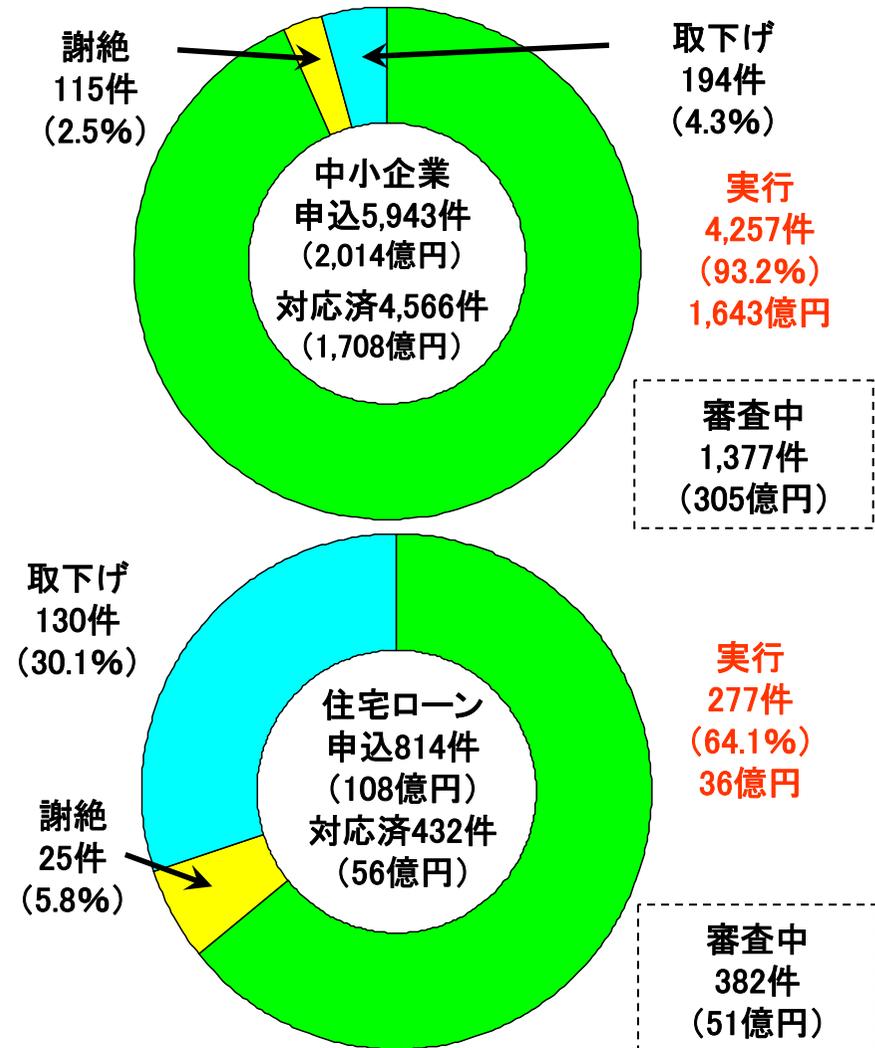
取引先支援・金融円滑化への対応

【経営改善支援の取組成果】



※経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数

【金融円滑化対応実績】<2行合算> (21年12月～22年3月)

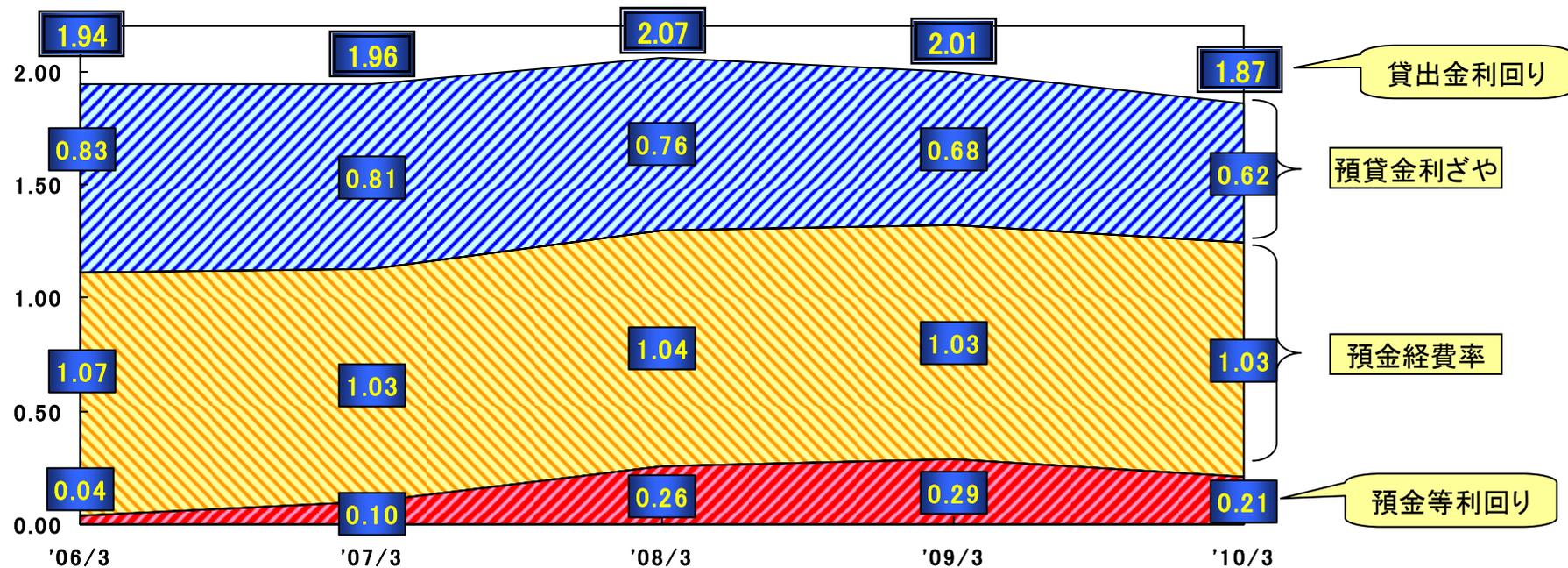


※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

預貸金利ざや①

- 貸出金利回り 09/3比 ▲0.14%
- 預金等利回り 09/3比 ▲0.08%
- 預貸金利ざや 09/3比 ▲0.06%

【預貸金利ざや(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉
(%)

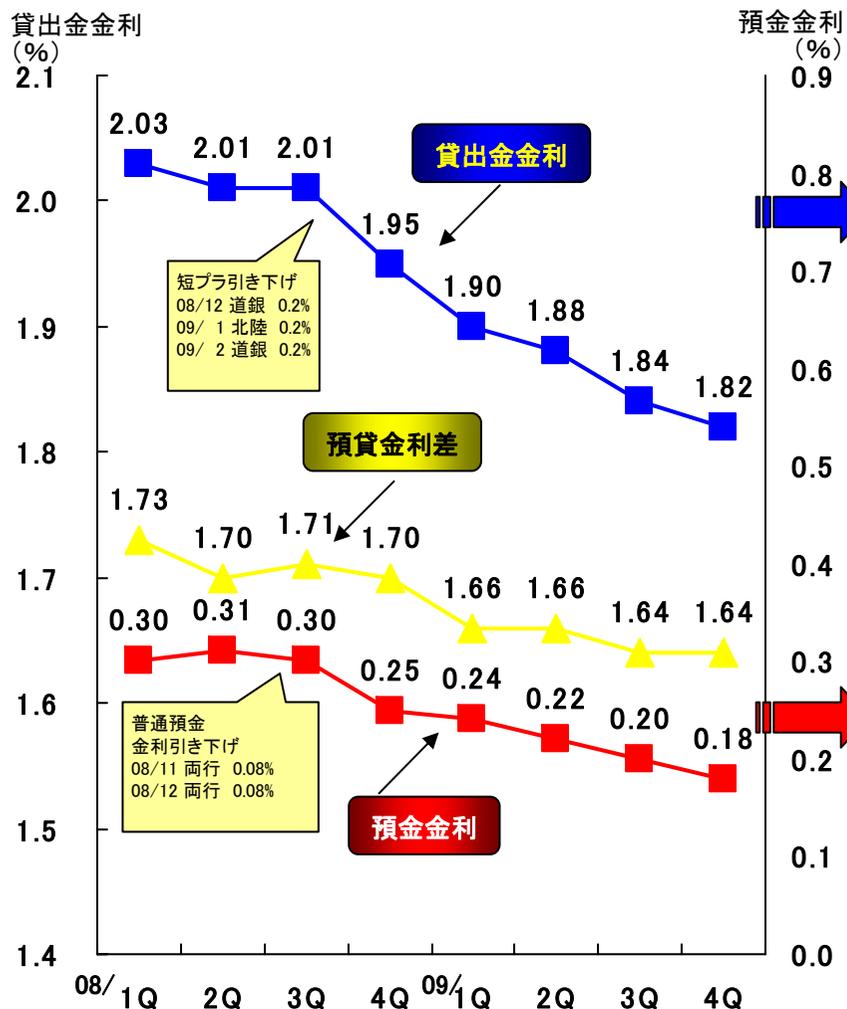


(%)	〈2行合算〉					〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉				
	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期
貸出金利回り	1.94	1.96	2.07	2.01	1.87	1.85	1.88	2.00	1.93	1.80	2.09	2.07	2.17	2.14	1.98
預貸金利ざや	0.83	0.81	0.76	0.68	0.62	0.75	0.75	0.70	0.62	0.59	0.95	0.92	0.85	0.78	0.68
預金経費率	1.07	1.03	1.04	1.03	1.03	1.04	1.02	1.01	1.00	0.98	1.10	1.05	1.06	1.08	1.10
預金等利回り	0.04	0.10	0.26	0.29	0.21	0.05	0.10	0.27	0.30	0.22	0.03	0.09	0.25	0.27	0.19

預貸金利ざや②

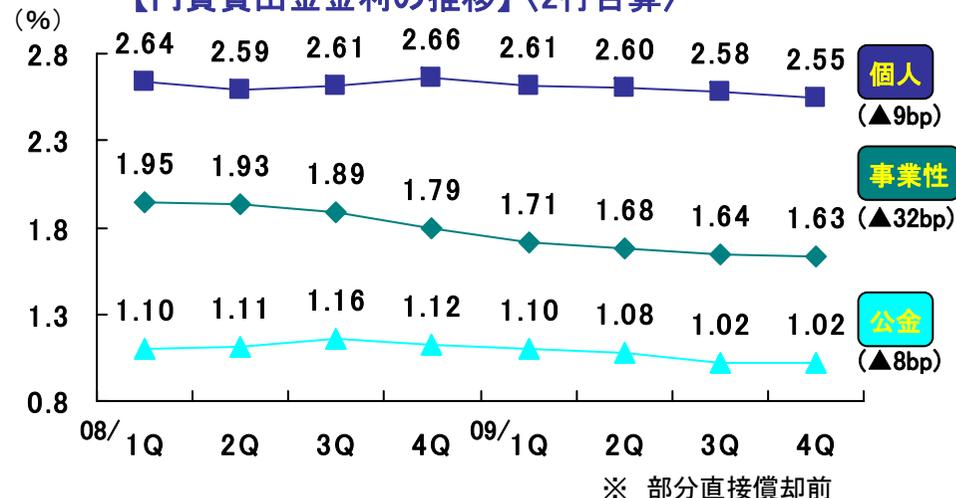
➤ 09/4Q貸出金利1.82%(08/1Q比▲0.21%)、預金金利0.18%(08/1Q比▲0.12%)

【円貨預貸金利の推移】〈2行合算〉

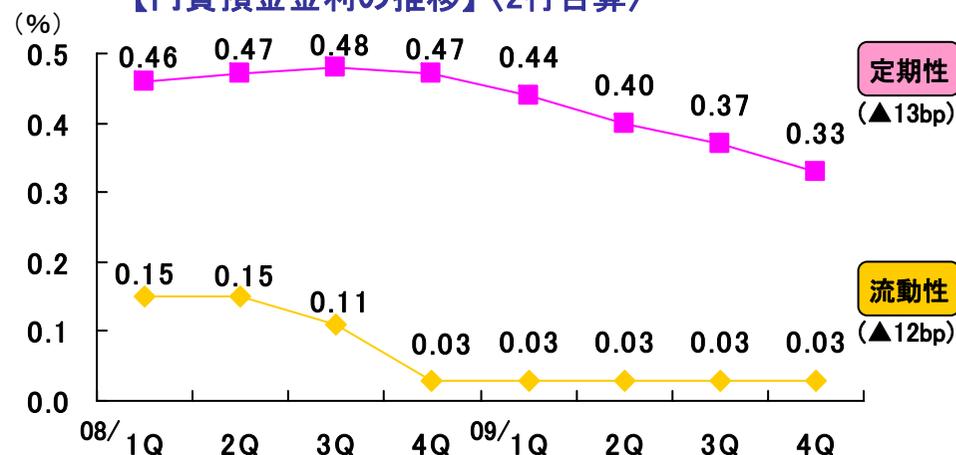


※ 内部管理ベース(約定金利ベース)

【円貨貸出金利の推移】〈2行合算〉



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉



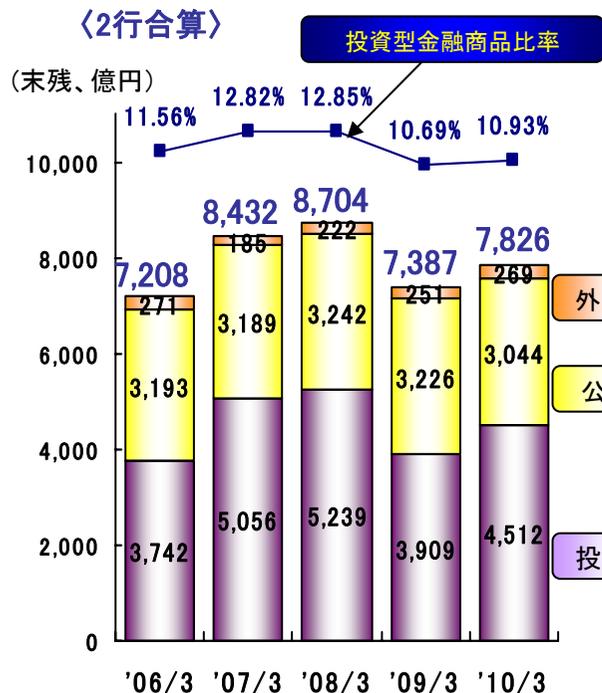
※ ()内は08/Q1との比較

投資型金融商品

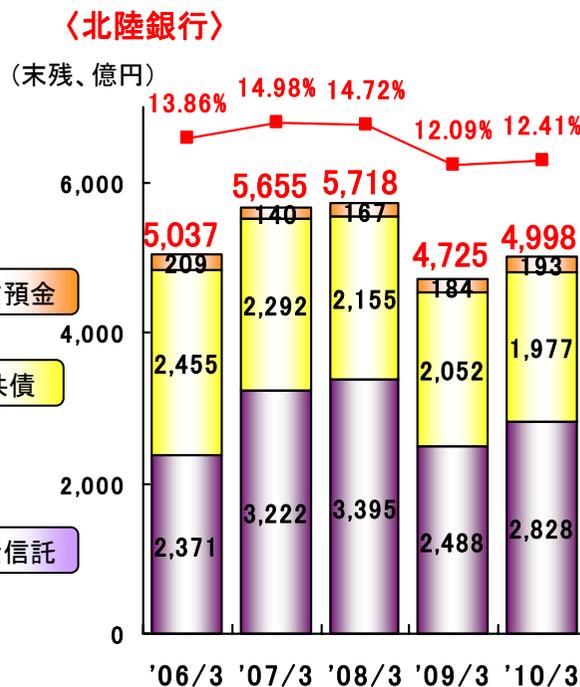
➤ 投資信託販売は持ち直しつつある。

【投資型金融商品の推移】

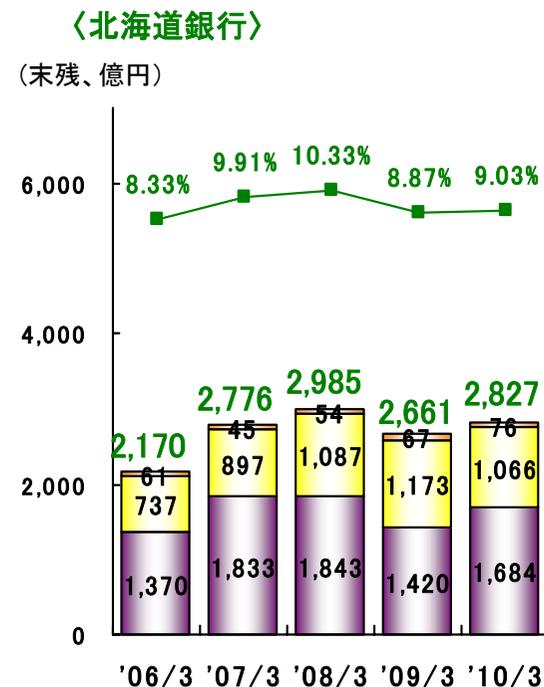
〈2行合算〉



〈北陸銀行〉



〈北海道銀行〉



【投資型金融商品販売額、手数料の推移】

〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

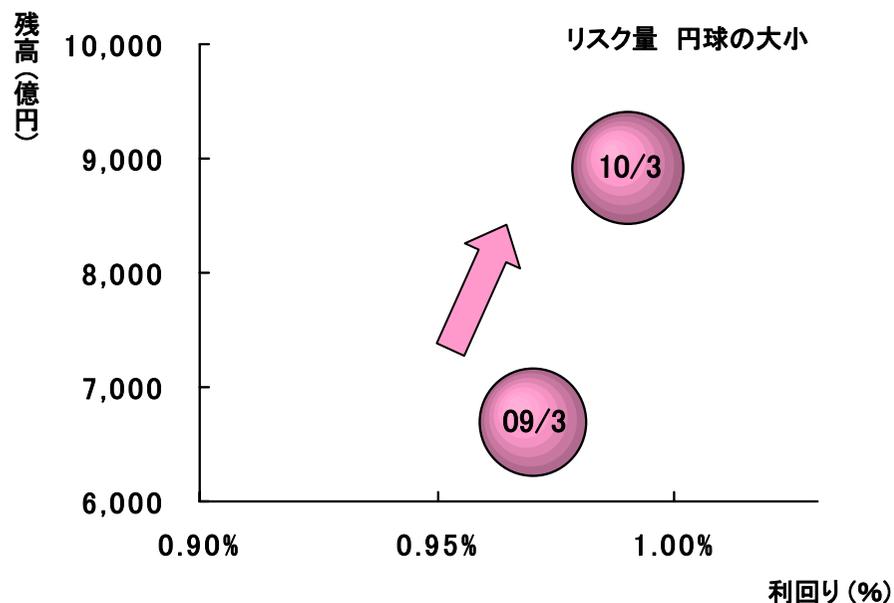
〈北海道銀行〉

(億円)	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期
投資信託販売額	3,308	2,618	842	1,383	2,361	1,897	440	1,046	946	720	401	337
生命保険販売額	879	836	829	944	584	569	555	514	294	267	273	429
投資信託手数料	91	90	43	53	61	62	27	37	29	27	16	15
保険手数料	42	44	39	32	30	30	29	21	12	13	10	11

ポートフォリオ(円貨債券)

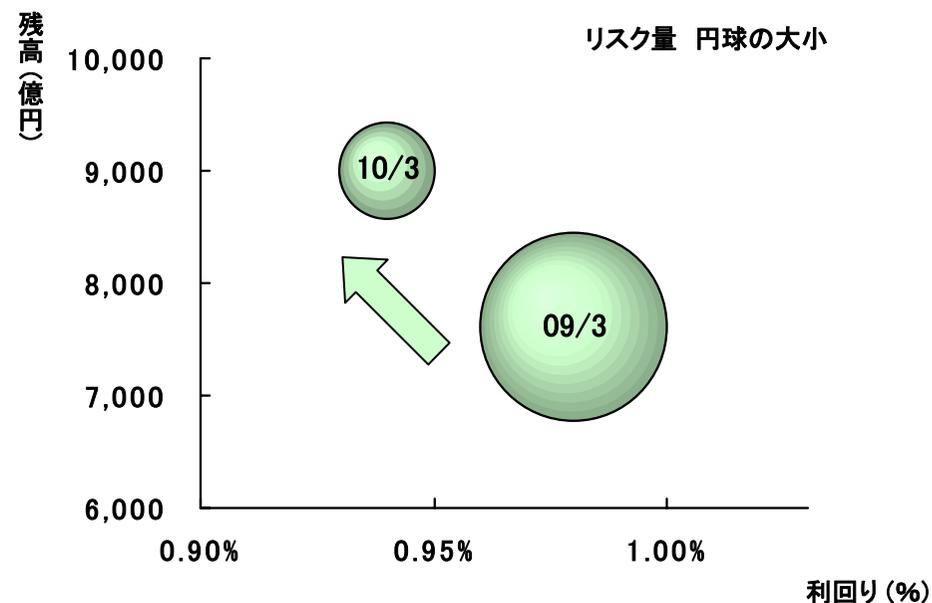
【円貨債券の残高、利回り、金利リスク】 ※ 内部管理ベース

〈北陸銀行〉



	09/3期	10/3期
北陸銀行		
残高(末残)	6,688億円	8,922億円
うち変動利付国債(金利期日管理)	1,665億円	1,916億円
期中平均利回り(%)	0.97%	0.99%
デュレーション(年)	2.45年	3.38年
リスク量(VaR)	83億円	92億円

〈北海道銀行〉



	09/3期	10/3期
北海道銀行		
残高(末残)	7,613億円	9,003億円
うち変動利付国債(GPS)	2,285億円	2,341億円
期中平均利回り(%)	0.98%	0.94%
デュレーション(年)	1.87年	2.81年
リスク量(VaR)	185億円	96億円

中期経営計画
“Road to 10”

【社会経済環境】

- ①浮揚力の弱い景気
- ②国内需要低迷、外需依存構造
- ③雇用環境・社会保障不安
- ④財政悪化・公共事業縮小

【地域経済】

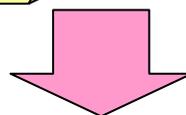
- ①地域経済の低迷
- ②少子・高齢化の進行
- ③住宅着工件数の減少
- ④地域企業のグローバル化
- ⑤地方財政逼迫

【競合状況】

- ①ゆうちょ銀行との競合
- ②中小企業貸出等の争奪
- ③競争激化による利鞘縮小

【会計制度・法規制等】

- ①中小企業金融円滑化法
- ②金融商品の時価評価・開示
- ③新自己資本比率規制
- ④国際会計基準(IFRS)

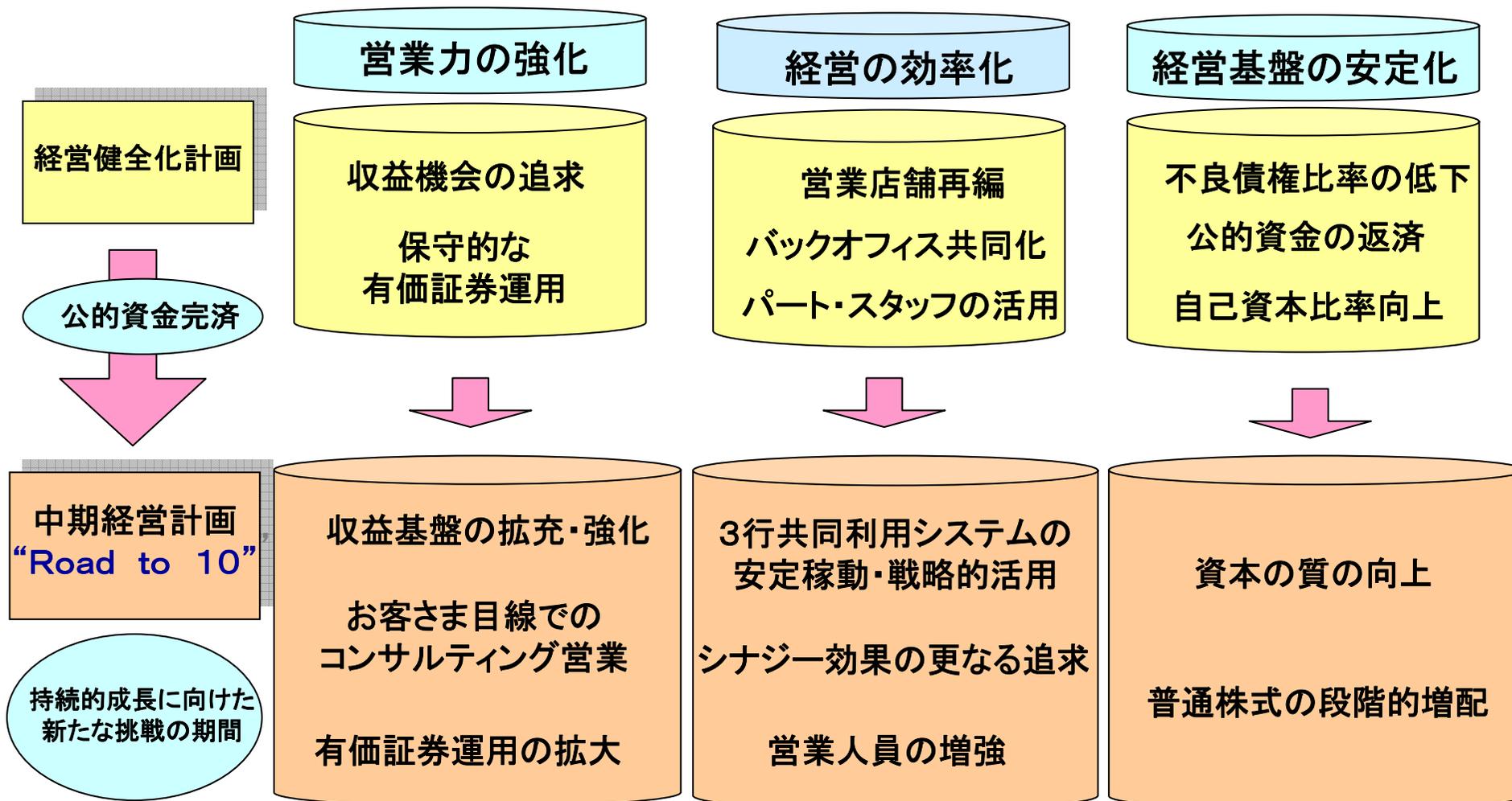


マーケットの縮小と競争の激化に加え、不透明な経済環境を反映し、リスクの増大も懸念され、経営環境は従来に増してシビアに

名称	中期経営計画 “Road to 10”
期間	3年間(2010年4月～2013年3月)
位置付け	持続的成長に向けた新たな挑戦の期間 ～預金量10兆円金融グループへの足固め～
目指す グループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
取り組む 課題	<ol style="list-style-type: none">1. 不透明な経済環境に対応できる安定的収益 基盤の構築2. 3行共同利用システム安定稼動・戦略的活用 と人員・店舗の営業インフラ整備3. 新自己資本比率規制、増配、民間優先株償 還に向けた剰余金積上げ

計画の基本方針

従来から取り組んできた経営の3つの柱「**営業力の強化**」「**経営の効率化**」「**経営基盤の安定化**」を更に進め、**公的資金完済後の経営ステージ**にあわせた施策を展開し、**預金量10兆円**へ向けての足固めとする。



▶ “トリプルR”の実践により、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指す

Retail ~親しまれる~

取引先数拡大と取引多面化・メイン化推進
顧客セグメント別マーケティング
スモールビジネス取引拡大(マル保など)
住宅ローン推進
給振・年金振込先の増強

Relation ~頼りにされる~

活発なソリューション営業の展開
顧客ライフサイクル別ソリューション営業
法人: 創業 → 成長 → 事業拡大 → 事業承継
個人: ライフステージ別相談
本部PB(プライベートバンキング)チーム
海外駐在員事務所活用

Region ~地域密着~

顧客利便性を考慮した店舗機能の提供
店舗の戦略的再配置(形態変更・移転)
ビジネスセンター、相談専用ラウンジ
企業誘致、産学官連携、CSR
地域の成長業種支援(農業、医療、環境)

戦略的人員配置

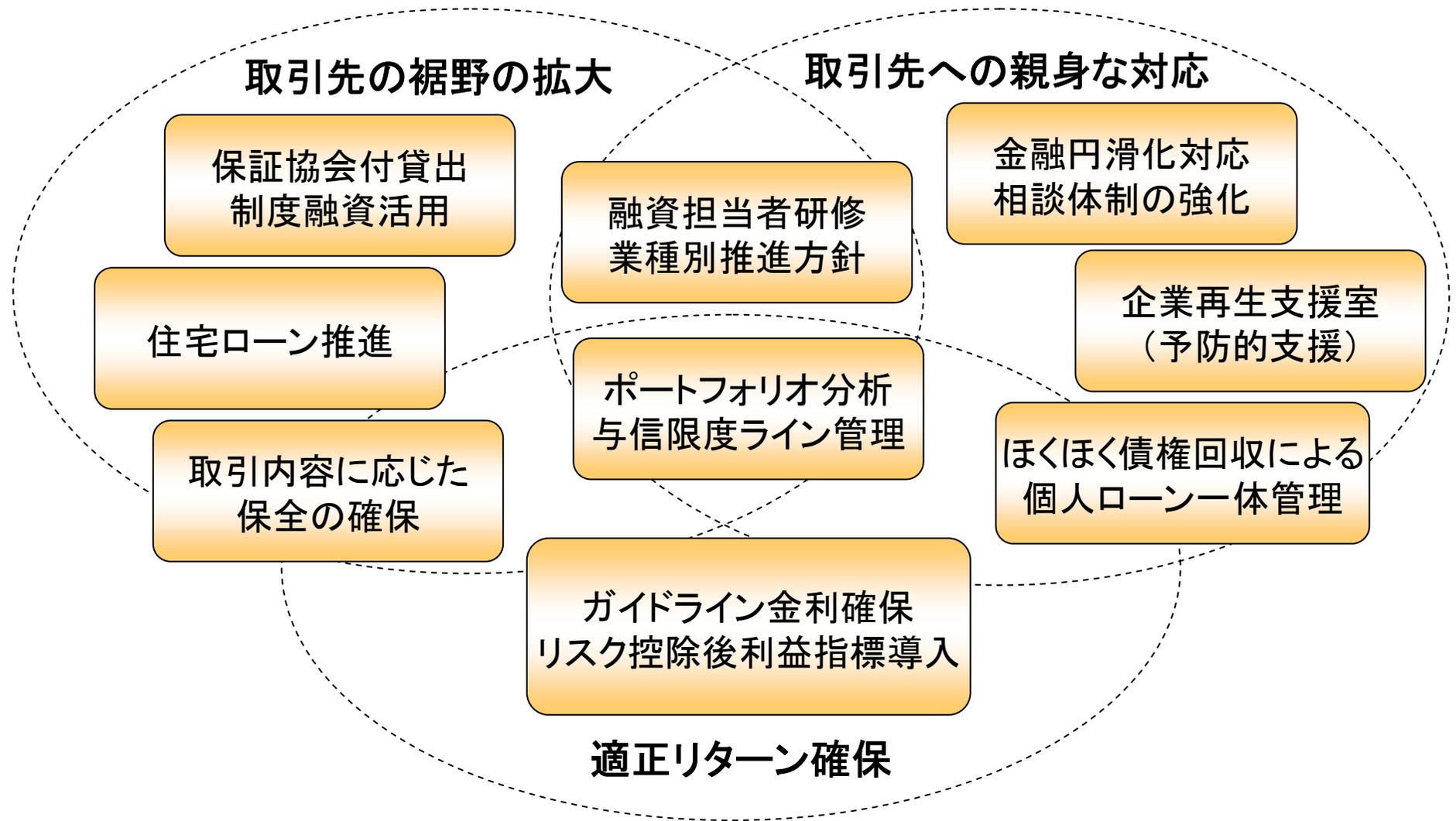
行員渉外能力の向上
グループ内人材交流によるノウハウ共有

アライアンス強化

グループ会社活用(ほくほく債権回収)
他行・信金信組、コンビニ等との連携

営業力の強化 ～強固な貸出基盤の構築

➤「リテール」と「リレーション」の徹底により、強固な貸出基盤を構築する



営業力の強化 ～海外ビジネス支援

▶アジア・極東ロシアの成長を取り込み、地域経済の活性化を図る

環日本海を中心に位置し、地銀随一の充実したネットワークを活用

情報提供力の強化

外銀等との提携

中国銀行、交通銀行
台湾FISC社
タイ・カシコン銀行
ベトナム銀行
スタンダードチャータード銀行
インドステイト銀行
ロシア連邦外国貿易銀行
ドイツ銀行

海外の行政機関との協定



サービス提供力の強化

台湾キャッシュカード
北海道で利用可能

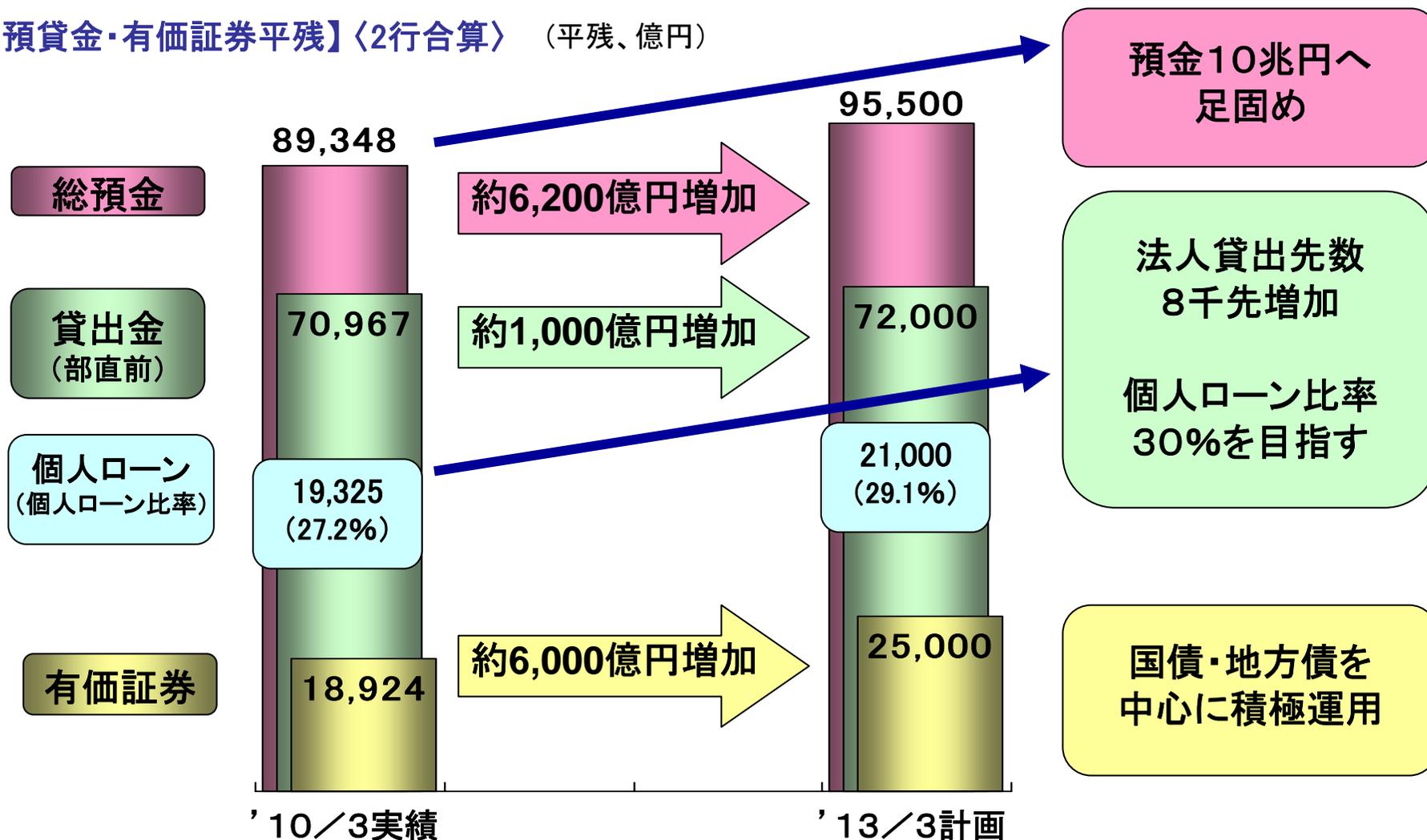
現地通貨(ルーブル)
による為替機能

商談会・セミナー
開催活発化

営業力の強化 ～預貸金・有価証券平残計画

- 取引先数の増加と取引メイン化の推進により預金10兆円への足固め
- 法人貸出先数の増加と個人ローン増強により貸出金を積み増し
- 有価証券は国債・地方債を中心に積極運用

【預貸金・有価証券平残】〈2行合算〉 (平残、億円)

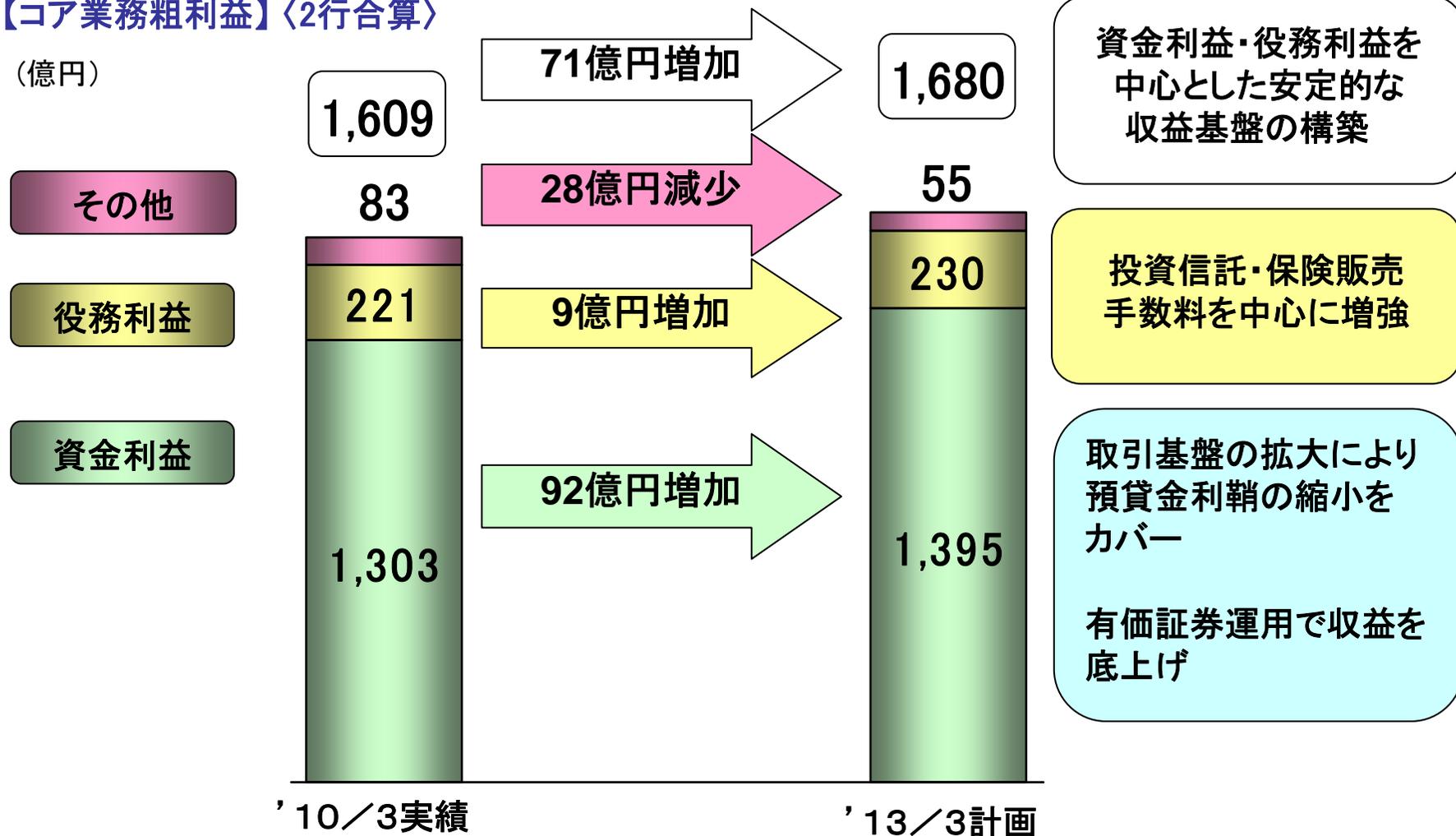


営業力の強化 ～コア業務粗利益計画

➤ベースとなる取引基盤の拡大により、資金利益・役務利益の増強を図る

【コア業務粗利益】〈2行合算〉

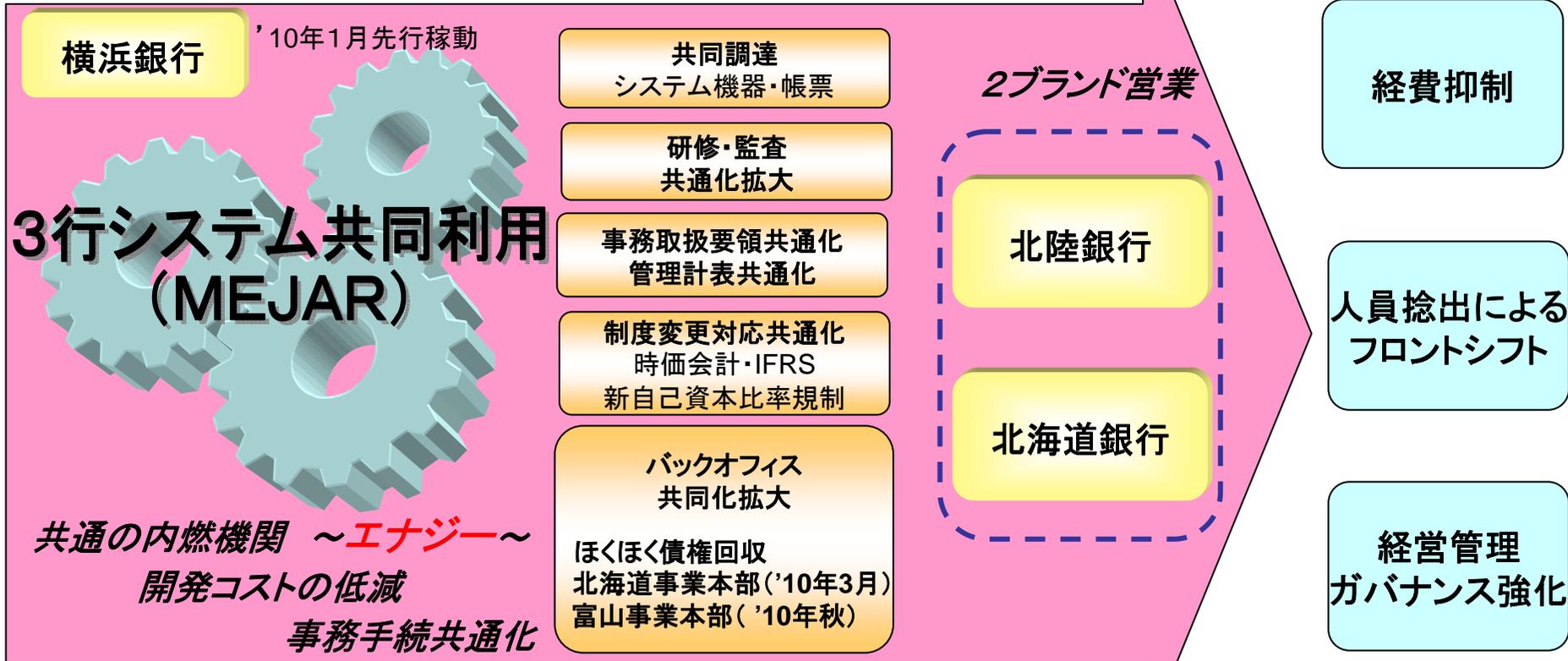
(億円)



3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用

'11年5月稼働開始

シナジー効果の加速

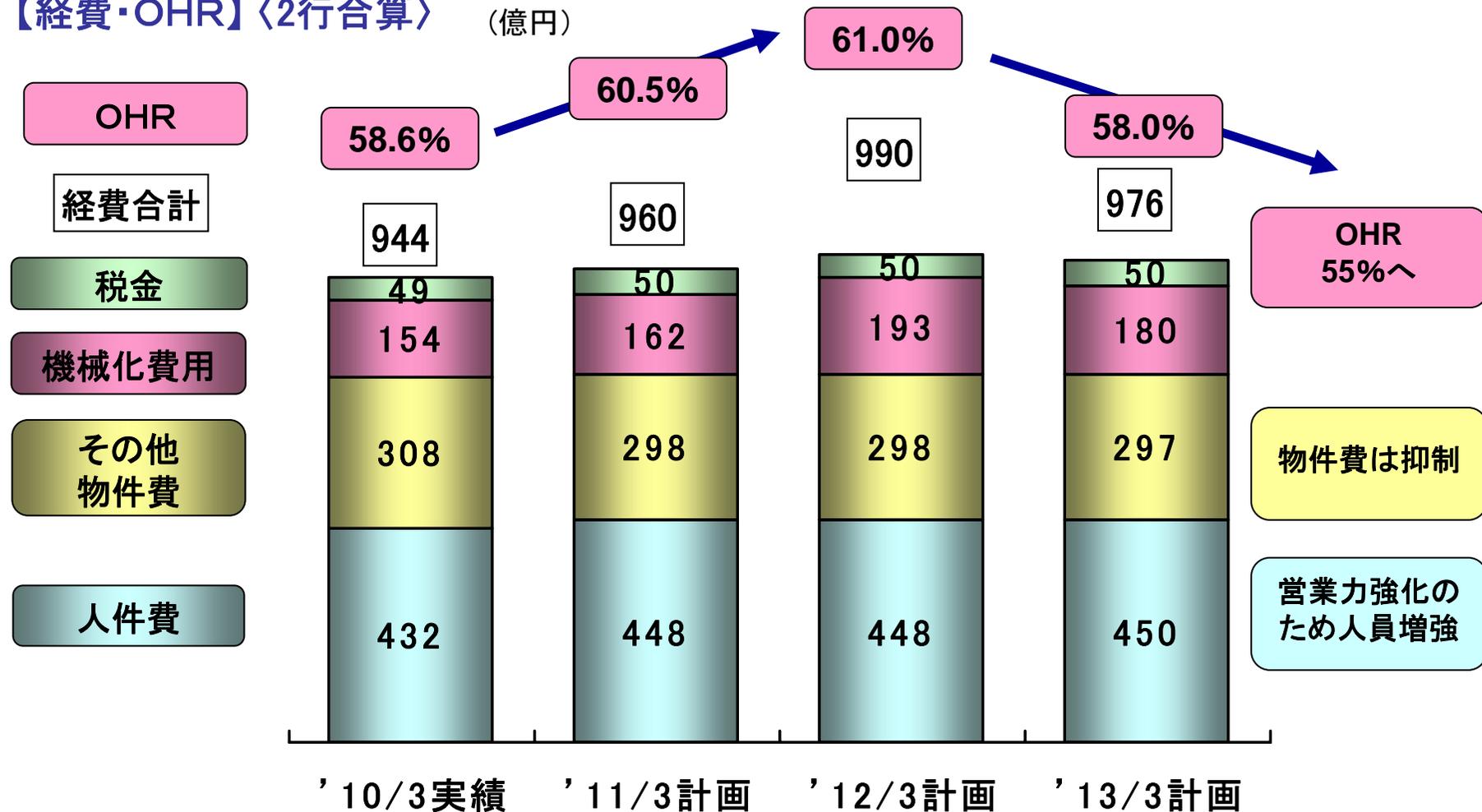


経営の効率化 ～経費・OHR計画

- '11年5月 3行共同利用システムへ移行 ⇒ 経費は'12/3期にピークアウト
- OHRは 58.0%('13/3期)を経て、55%へ('16/3期)

【経費・OHR】〈2行合算〉

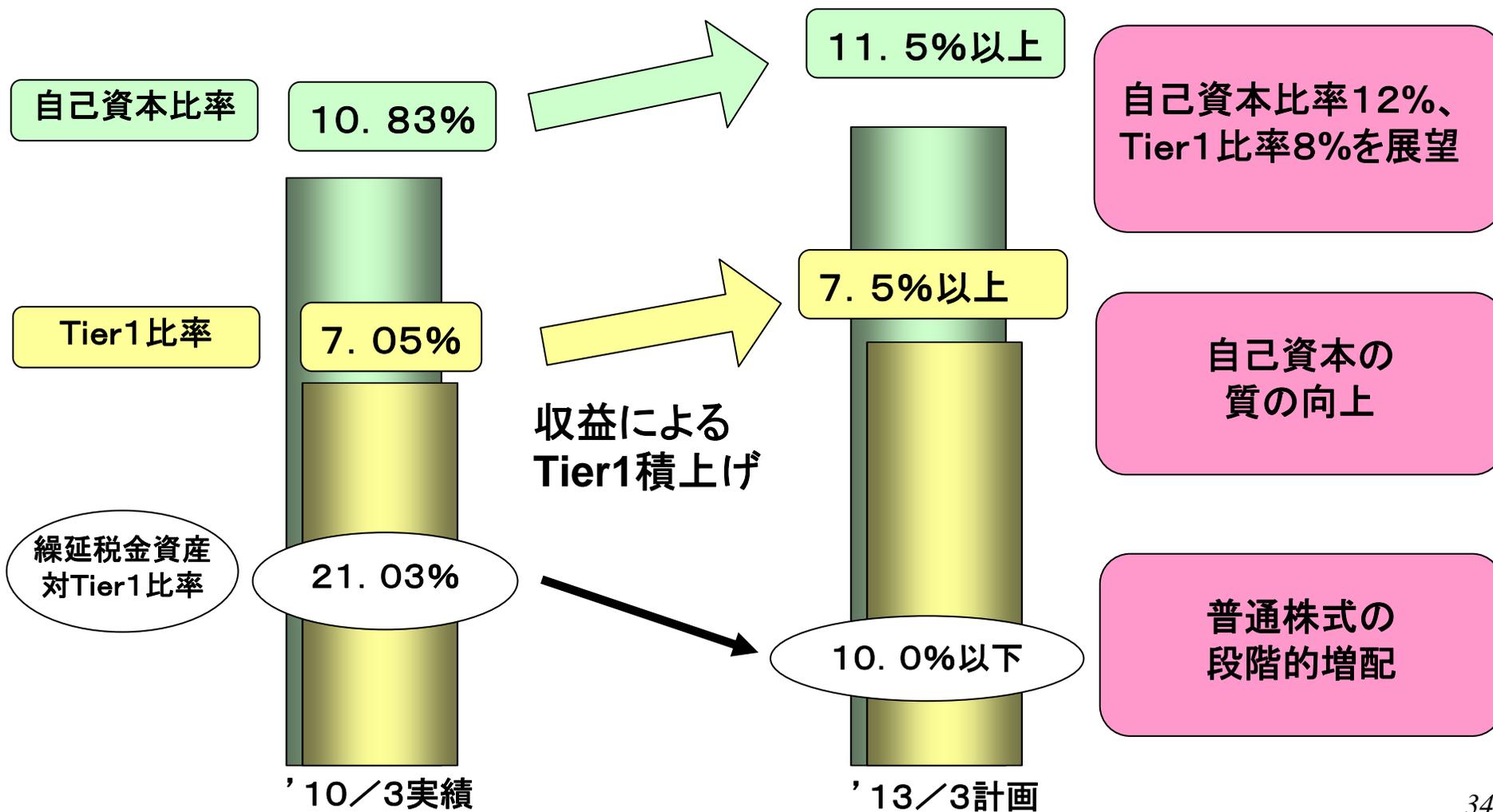
(億円)



経営基盤の安定化

➤ 収益の積上げによる資本の質の向上

【自己資本比率・Tier1比率】〈FG連結〉



- 社会的責任・コンプライアンスを意識した施策を展開
- ステークホルダーには公的資金導入中の支援に感謝し、良好な関係を維持・発展させる

【株主】

株主とのコミュニケーションの充実

- ・IR活動の充実
 - 個人投資家説明会
- ・株主総会
 - 株主総会の開催(富山・札幌)
- ・情報開示
 - ディスクロージャー誌の充実

【お客さま】

CSの向上と顧客保護の徹底

- ・CS向上活動
 - マナー研修、両行店頭相互観察
- ・お客さま相談体制の強化
 - 金融円滑化窓口
- ・顧客保護の徹底

地域共栄

【従業員】

従業員満足を高める雇用環境の整備

- ・若年層、女性、高齢者活用
- ・ワークライフバランス(子育て支援、介護支援)
- ・コミュニケーション重視の職場風土づくり
- ・能力開発支援
 - 海外・行外研修、マネジメント教育

【社会】

地域社会への貢献、企業市民としての活動

- ・金融教育
 - 次世代経営者養成講座、寄付講座など
- ・芸術・文化活動
- ・環境保護活動
 - 植樹、太陽光発電対応店舗

計画主要計数

2行合算	'10/3期 実績	'13/3期 計画
総預金平残	8兆9,348億円	9兆5,500億円
貸出金平残(部直前)	7兆967億円	7兆2,000億円
コア業務純益	664億円	700億円
連結当期純利益	192億円	255億円
連結自己資本比率 (連結Tier1比率)	10.83% (7.05%)	11.5%以上 (7.5%以上)
OHR	58.68%	58%
ROA (コア業務純益ベース)	0.68%	0.68%
ROE (連結当期純利益ベース)	5.12%	6%以上
不良債権比率	2.98%	3%程度

北陸銀行

ハイブリッド I・S・M 2010

I : Innovative (革新的な)
S : Sustainable (継続的な)
M : Management (経営)

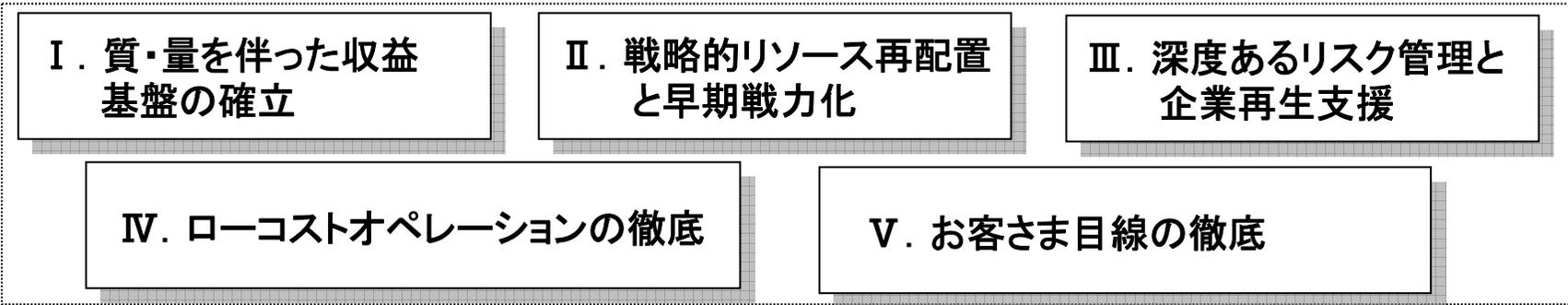
基本
理念

地域に『親しまれ・頼りにされる銀行』を目指して
～激変する金融環境下、地銀の原点である「地域密着・顧客指向」を徹底～

『親しまれる銀行』～リテールの徹底実践～
・顧客接点拡大(SS運動)
・メイン化推進 / 総合取引推進

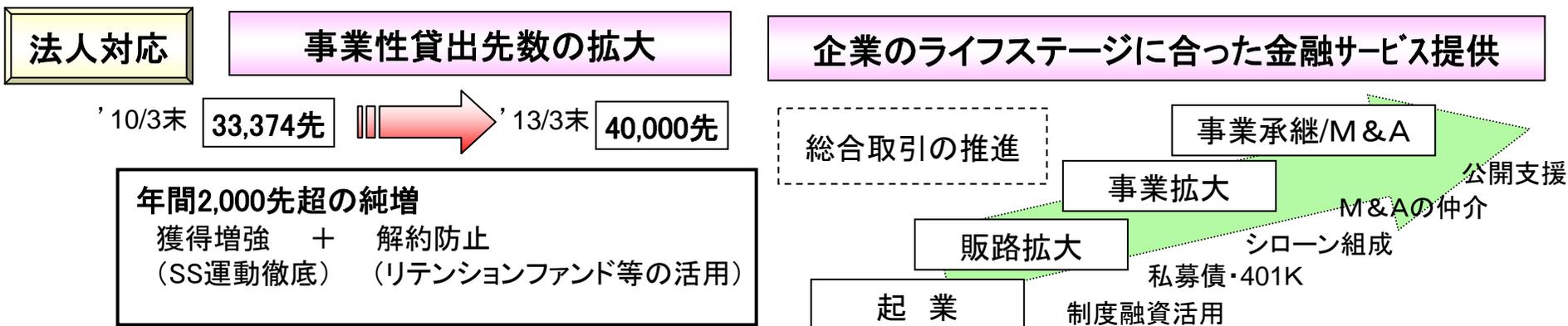
『頼りにされる銀行』～リレバンの徹底～
・質の高い付加価値提案 / 海外進出支援
・広域店舗網を生かした情報提供 / 地域の産業医

基本
戦略



地域からの信頼獲得 / 地域活性化

I. 質・量を伴った収益基盤の確立



業種別融資戦略の推進 ～成長分野への取組強化～

➢ 行内統一の業種別融資戦略の策定

➢ 法人営業推進研修
「業界の達人養成講座」の開始

➢ 元気なモノづくり企業育成

➢ 成長分野への取組強化

農業

農業経営アドバイザーを
20名に(現在7名)

医療介護

各地区事業部・新規チームを
専担と位置づけ

環境

日本政策投資銀行との
提携

個人対応

総合取引推進による「家計メイン化」と生涯取引の獲得

- 総合取引の推進 … 給振・年金口座数の拡大(合算で800千先目標)
 - 生涯取引の獲得 … ライフステージに応じたサービス・商品の提供
 - ゆうちょ銀行との対抗…預金獲得強化継続(投信・保険のベースとして)
 - パーソナルラウンジの整備
 - 総預金平残目標 … ('13/3期)55,000億円
- 流入機能
決済機能強化
…他業態への
流出防止

I. 質・量を伴った収益基盤の確立：情報提供力強化

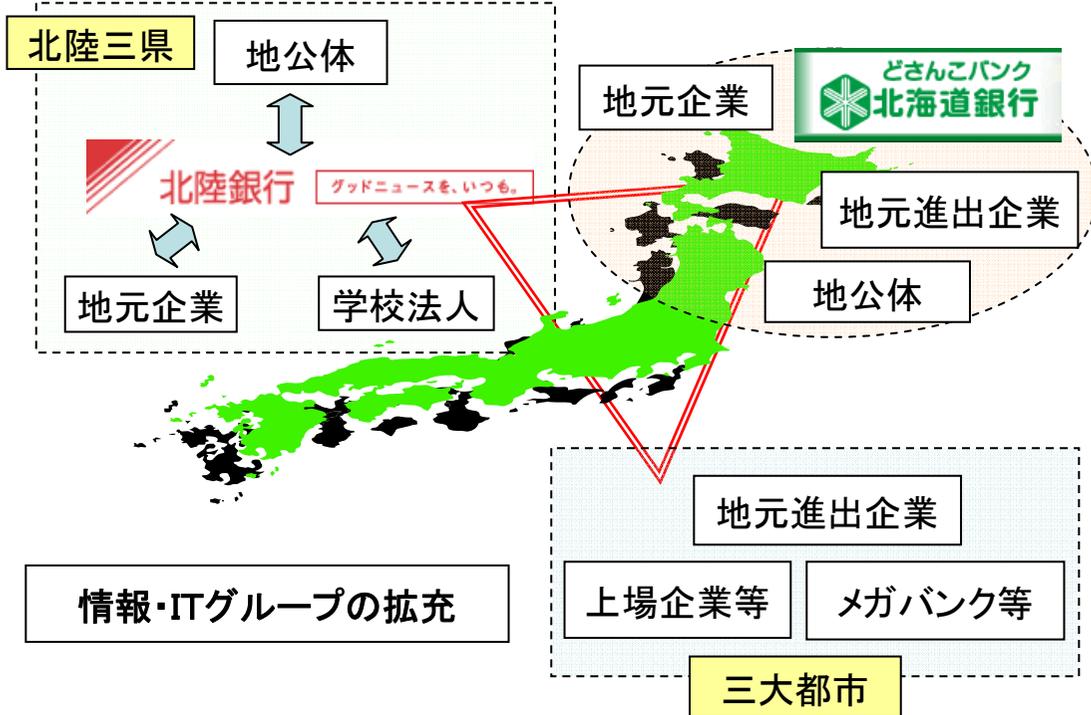
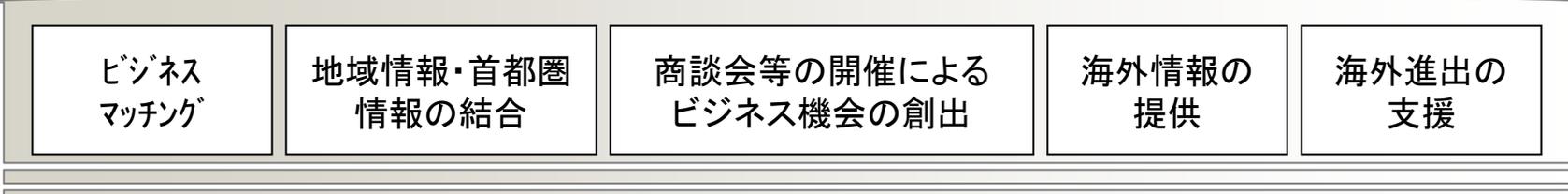


国内外の広域ネットワークおよびアライアンス網の活用による差別化

販路拡大・新技術導入は、
中小企業の大命題

お客さま

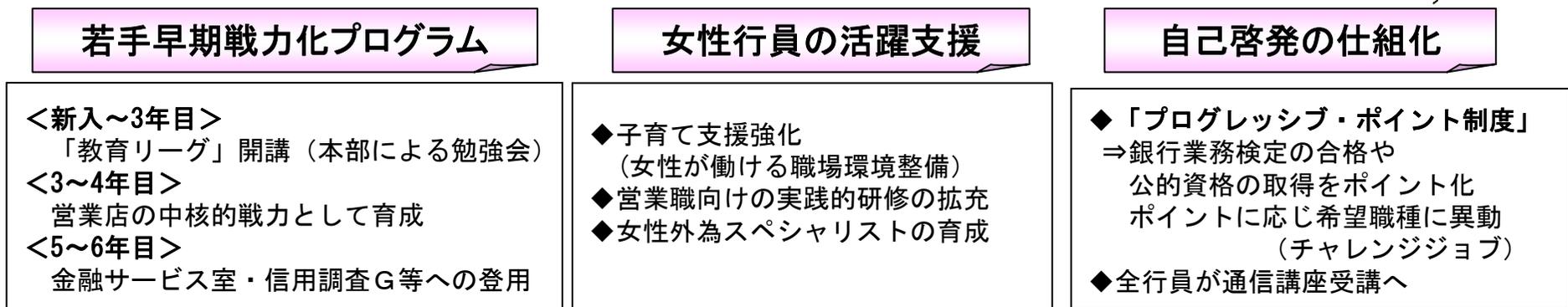
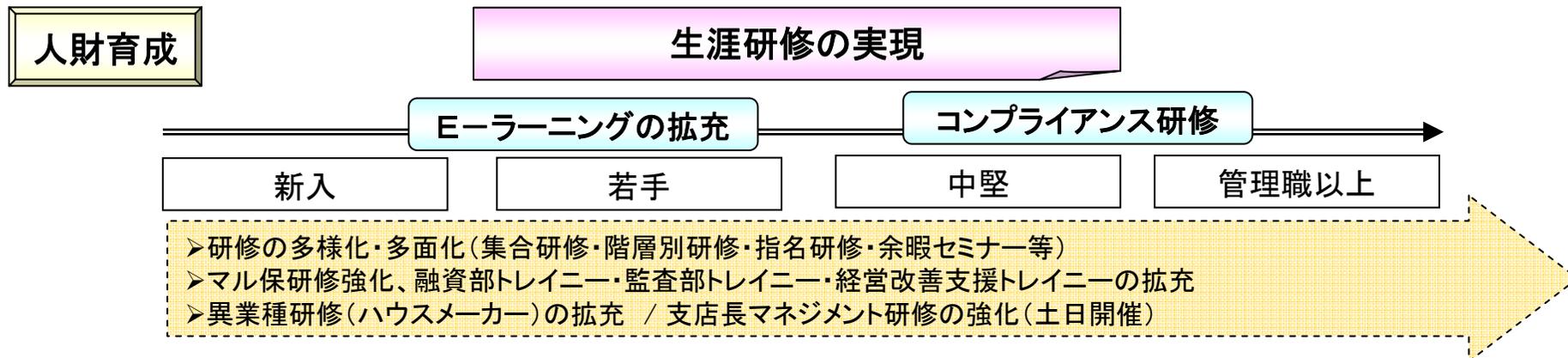
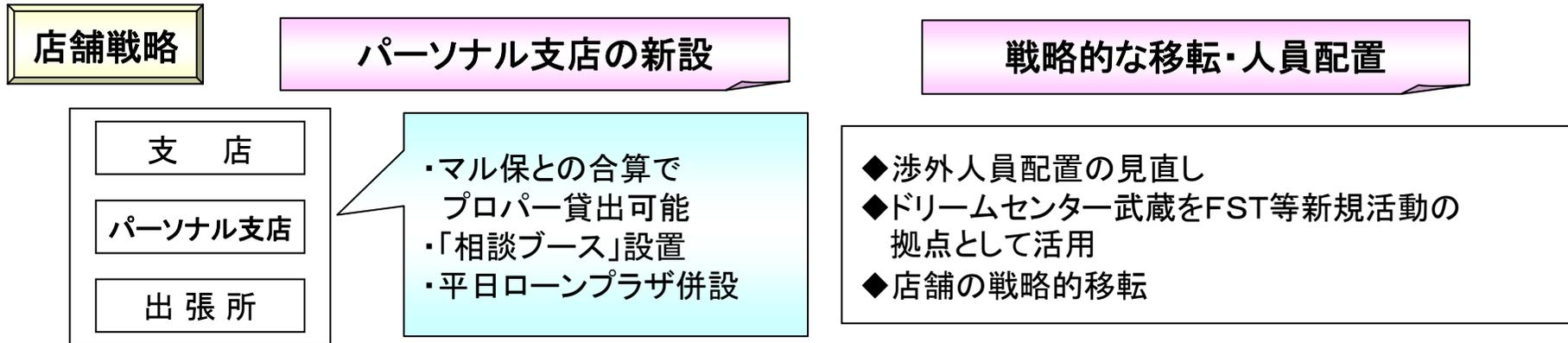
取引先の海外進出支援は、
地域密着の延長線



取引先進出状況に合わせ事務所開設検討

海外行政機関・外銀との提携拡充

Ⅱ. 戦略的リソース再配置と早期戦力化



Ⅲ. 深度あるリスク管理と企業再生支援

貸出金残高の積み上げ

- ・売上規模、格付等に応じた貸出残高の積み上げ
- ・保証協会貸出、消費者ローンの積み上げ
- ・制度融資等の活用



信用コストの抑制

- ・保証協会貸出の積極的な活用
- ・保全バランスに考慮した貸出の推進
- ・再生支援等によるランクアップ
- ・限度ライン管理(大口偏重抑制)

リスクとリターンの
バランス確保

格付に過度に偏重しない
適正な与信審査

利回りの改善

- ・適正金利の確保
⇒実態把握に基づくリスクに応じた金利
設定の徹底(ガイドライン金利)

- 信用リスク管理の高度化
- ・貸出資産ポートフォリオ充実
- ・RAROA・RAROCの有効活用

金融円滑化対応

- ①金融円滑化に向けた取り組みを通して、「実態把握」を強化
- ②相談窓口を充実させ、条件変更対応を強化
⇒貸し拡げのチャンスとして、営業推進にも結びつける。

地域金融機関としての意識改革の契機

企業再生支援

- ①経営改善支援室による中小企業の経営改善に注力。
- ②「ステイ型支援」を通して、短期間で格付ランクアップを図る。
- ③中小企業再生支援協議会と企業再生支援機構との連携強化

IV. ローコストオペレーションの徹底

- 1. MEJAR導入による更なる事務堅確化
- 2. 提案制度等による更なる経費削減
- 3. バックオフィスの統合による効率化

MEJAR導入による事務堅確化

- ① 営業店事務マニュアルの統一（北海道銀行）
- ② ペーパーレス化・現物レス化（イメージ保管）
- ③ オープン出納機の導入
- ④ バックオフィスの集中化拡大

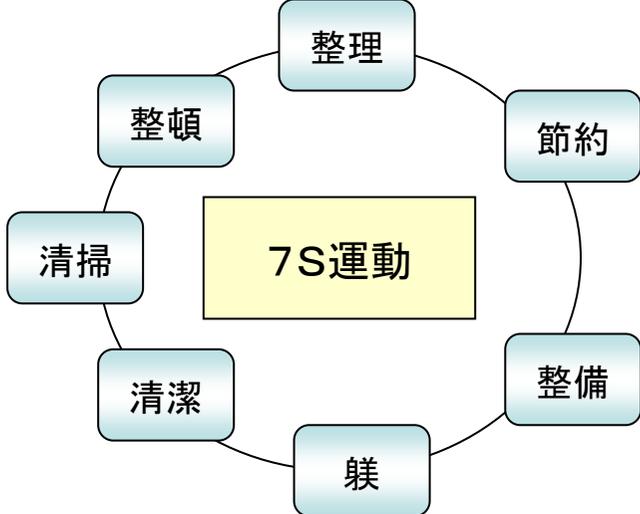
- 営業店事務フロー改善
⇒ 事務削減
- 事故等の撲滅
- 将来コストの軽減

提案制度（経費削減部門：7S運動）の継続

- 平常の業務の中の「ちょっとした気付き」を経費削減に生かす
- インセンティブの拡充：「提案マイルージ制度」導入検討

バックオフィスの統合による効率化

- 事務集中室への更なる集中化
… 投信業務・保険業務・ローン自動審査関連業務等



V. お客さま目線の徹底

ホスピタリティ(心からのおもてなし)の強化

新たな取組

①「お客さまのうれしいを、私たちのうれしいに。」のCS17キーワードを小冊子に編集・配布
⇒ おもてなしの意識の徹底を図る

②金融商品説明能力の向上:「金融商品説明ロールプレイング大会」の実施
⇒ お客さまへの商品説明をきっちり行うことで顧客満足度の向上を図る

③「CSマイスター制度」導入
⇒ CS向上に関する頭取賞授賞者を対象に「マイスター」の称号を与え、マイスターは各地区・僚店でCS向上研修講師や指導に当たる。

④「キッズルーム」の設置
⇒ 土日営業のローンプラザに簡易型キッズルームセットを設置

CSRへの積極的な取組

地域密着の実践＝地域市民としての「市民権」確立

新たな取組

■シニア向け対応の強化 … ロビー展の開催頻度拡大、芸術・スポーツ関連行事等の開催
「てるてる亭・ほくほく通り」の開設

計画主要計数

	' 10 / 3期 実績	' 13 / 3期 計画
総預金平残	5兆1,587億円	5兆5,000億円
貸出金平残(部直前)	4兆2,036億円	4兆1,800億円
コア業務純益	383億円	400億円
当期純利益	156億円	160億円
OHR	57.48%	57%台
不良債権比率	3.42%	3%台維持
自己資本比率	10.80%	12%以上
事業性貸出先数 給振・年金先数	33,374先 734,372先	40,000先 800,000先

北海道銀行

DASH

D: Development (発展、進展)
A: Aggressive (積極的な、攻撃的な)
S: Speedy (迅速な)
H: Hospitality (歓待)

“Road to No.1”

～長期に渡って顧客から信頼、評価される道内トップブランドの構築～

目指す姿

「地域のお客様から揺るぎない信頼と支持を得るベストバンク」

No. 1の収益力
(RAROA・OHR)

No. 1の人材

No. 1の
商品力・提案力

No. 1の利便性

No. 1の安定性
(自己資本比率)

ファースト・コール・バンクとしての評価

基本戦略

I.顧客基盤拡大による
収益力増強

II.資産および収益構造の
改善

III.効率運営の追及

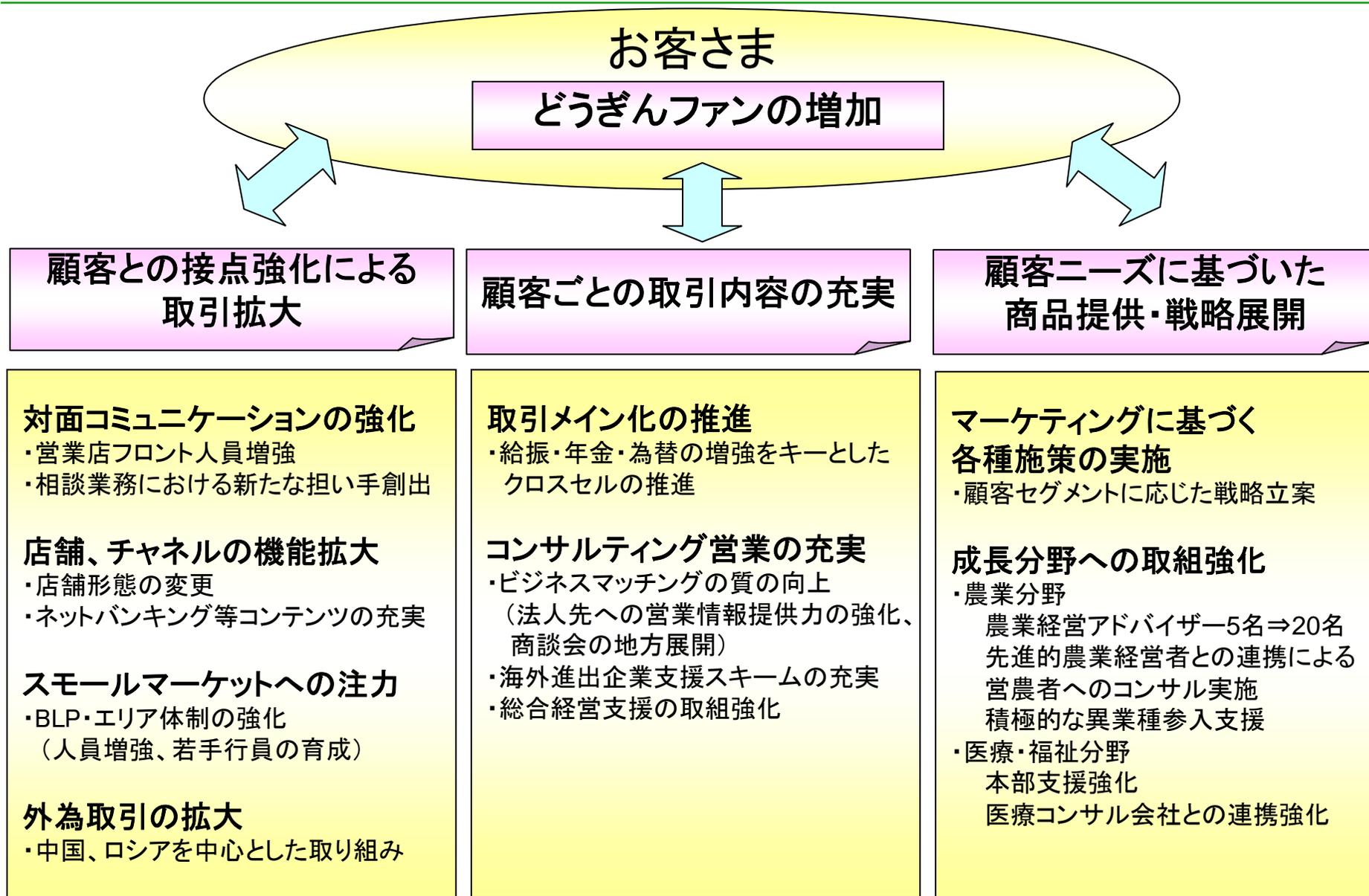
IV.人材活用・育成の強化

V.アライアンスの強化

VI.CS、環境・地域貢献
活動の推進

優位性のある収益性・効率性を維持しつつ**選択と集中**を進め、不透明な環境にも耐え得る**人財、資産および収益構造の再構築**を図る。

I . 顧客基盤拡大による収益力増強



II. 資産・収益構造の改善

適切なリスクアセット・コントロール

リスク管理手法の
高度化・精緻化

個人ローンの推進

・借換を中心とした住宅ローン推進強化、他行商品への対抗策

公金貸出の推進

・道内シェア拡大、道外での積極運用

有価証券の効率的運用

・安全性、リスクアセットを重視しながらの利益機会追求

リスク控除後収益の拡大

保証付貸出の推進

・保証協会付貸出の推進
・優良保証付融資商品の開発・推進

適切な貸出プライシングの徹底

・信用コストと保全状況に見合った金利設定

長期安定収益の 確保・拡大

与信集中リスクへの対応強化

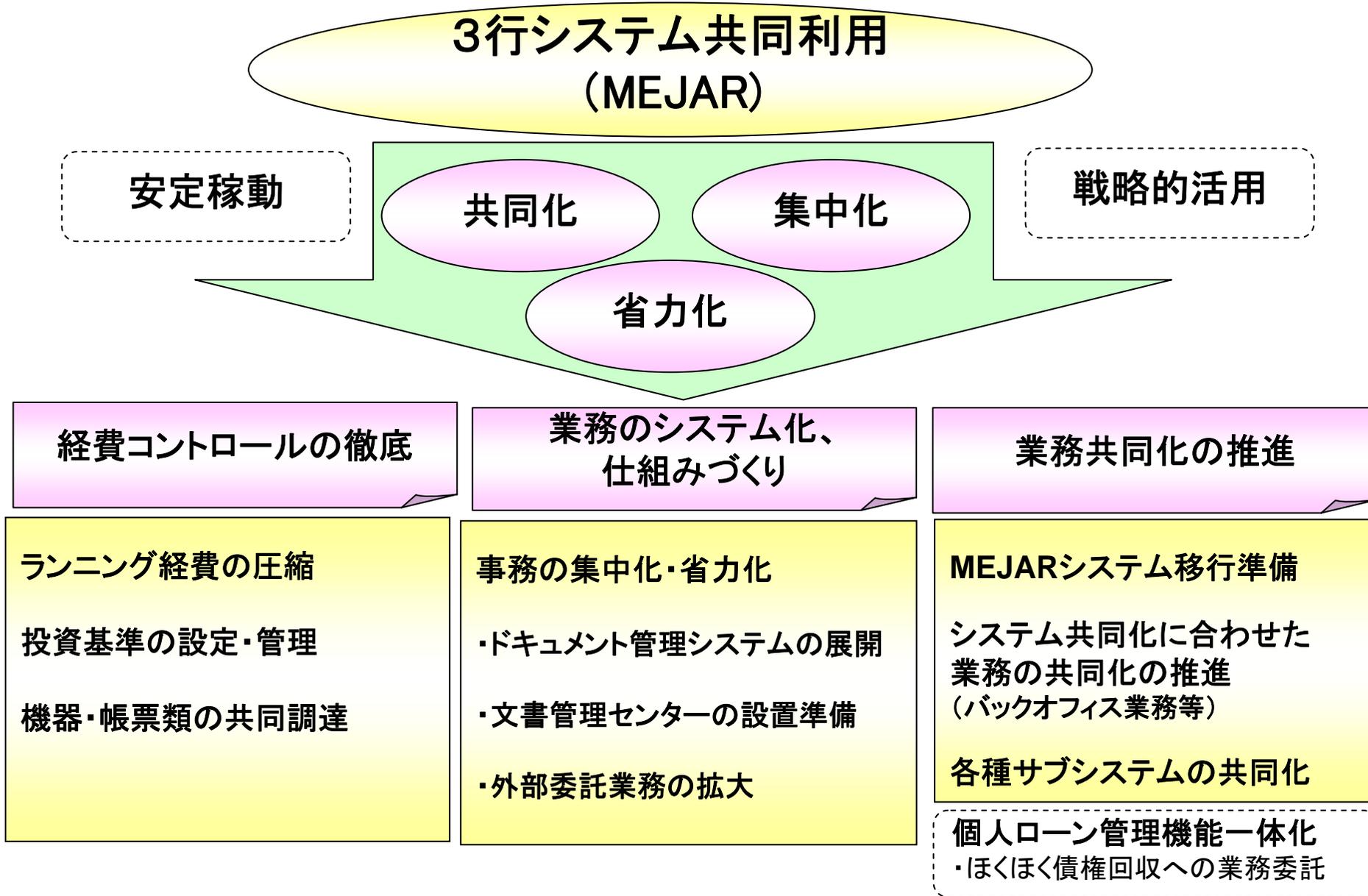
小口分散

・法人取引先の間口拡大
・与信限度額を意識した適切な管理

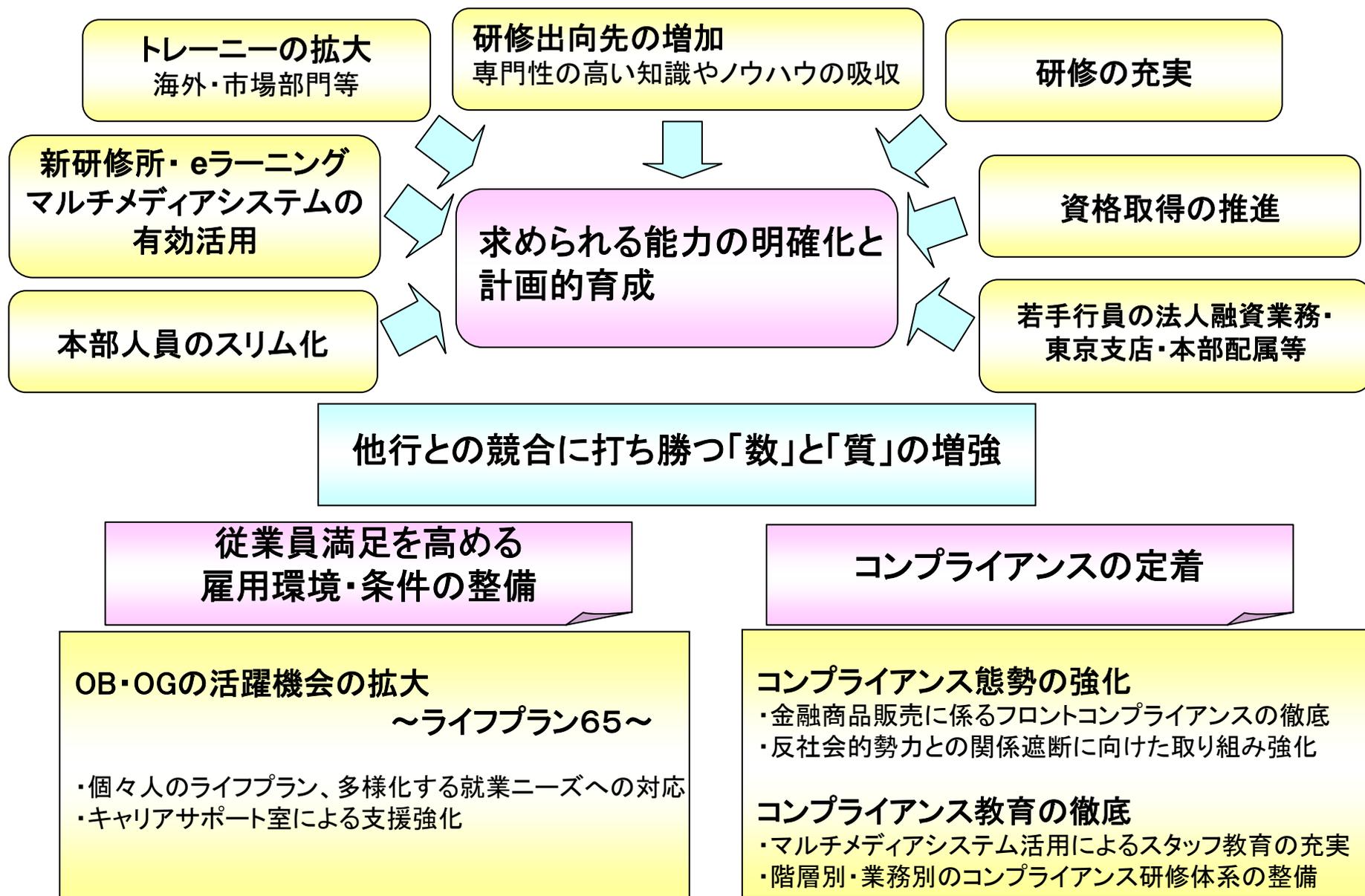
経営改善支援

・事業計画策定支援等のサポート体制強化
・審査能力の向上

Ⅲ. 効率運営の追求



IV.人財活用、育成の強化



地銀間の連携を活用した機能強化

各種研究会での活動を通じた連携強化、
ノウハウ活用

- ・マーケティング研究会
- ・リース業務研究会
- ・リサーチ・コンサル研究会

マーケティングモデルの共同化に向けた検討

信金・信組との関係強化

地域金融セミナーの継続開催

⇒これらを契機とした個別業務での相互協力

バックオフィス業務の受託・委託

⇒手形代理交換・手形小切手帳の集中発行
ATM運行管理業務・メール便運行業務 等

オール道銀・FG全体での総合力発揮

道内バックオフィス業務の共同化

グループ会社・親密先を含めた周辺業務の協調

⇒総合金融サービスの提供

ほくほく債権回収による個人ローン業務一体化

VI.CS・環境・地域貢献活動の強化



CS向上活動の展開

どさんこバンク運動による好感度向上

「どさんこバンク運動」の展開

“CSベーシック”の定着



“CSスタンダード”の育成

DOOR等お客様からの提言を活用

投稿型意見の識別・活用

環境問題への取り組み強化

CO₂削減への取り組み

「環境配慮行動宣言」の継続
行内エコ活動への取り組み
「道銀フォレスト運動」の継続



オリジナル環境キャラクター
「えこど」

環境対応金融商品

環境配慮型企业へのインセンティブ提供

地域貢献活動への取り組み強化

教育活動への取り組み

職場体験学習、インターンシップ等継続・拡充
各種イベントへの参画・開催

顧客保護の取り組み強化

利益相反管理態勢のモニタリング実施
金融ADR発足に向けた態勢整備
デリバティブ取引の顧客説明態勢の整備・向上

文化活動への取り組み

地域振興策への取り組み

企業誘致とモノづくり支援
新事業・ベンチャー支援

金融円滑化法への対応

DOORの活用

事務リスクの削減
蓄積されたデータベースの活用

計画主要計数

	'10/3期 実績	'13/3期 計画
総預金平残	3兆7,760億円	4兆500億円
貸出金平残(部直前)	2兆8,930億円	3兆円
コア業務純益	281億円	300億円
当期純利益	103億円	120億円
OHR	60.21%	59%台
不良債権比率	2.32%	2%台維持
自己資本比率	10.19%	10.5%以上
事業性貸出先数 給振・年金先数	10,175先 864,490先	12,300先 950,000先

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:丸谷)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。